

1. 件名：「敦賀発電所2号炉の地震等に係る新基準適合性審査に関する事業者ヒアリング(33)」

2. 日時：令和5年1月31日（火）16時00分～19時10分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：野田企画調査官、海田主任安全審査官、宮脇安全審査専門職、
大井安全審査専門職

日本原子力発電株式会社：堀江 常務執行役員、齋藤執行役員 他6名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

<本年1月26日提出済>

- ・敦賀発電所2号炉 調査データのトレーサビリティの確認結果に関するコメント回答
- ・敦賀発電所2号炉 敷地の地形、地質・地質構造 今後の説明スケジュール（改訂2）

時間	自動文字起こし結果
0:00:04	あ、じゃあ、はい。
0:00:07	今すいません。
0:00:12	わかります。
0:00:16	お疲れ様です。原子力規制庁のカイダです。
0:00:20	それではですね今日は敦賀発電所 2 号炉敷地の、
0:00:29	調査データのトレーサビリティの確認結果に関するコメント回答。
0:00:33	この資料ですね。
0:00:35	同じく、
0:00:37	規定地質地質構造今後の説明スケジュール改訂にという。
0:00:42	資料に基づきまして、
0:00:45	ヒアリングをしたいと思います。
0:00:48	まずは、日本原子力発電の方から資料のご説明をよろしく願いいたし進発的に、
0:00:55	すいませんじゃまずちょっと冒頭こちらの方から申し上げた上で入りたいと思います。
0:01:03	規制庁野田です。本日のヒアリングよろしくお願ひします。で、最後にももう一度お伝えしようと思っているんですけど、今日のヒアリングでの内容とかやりとりにも関連してくるんで、先に今後のスケジュールをお伝えします。
0:01:20	本件ですね、
0:01:24	2 月の 10 日、来週、金曜日ですね、2 月 10 日来週の審査会合の議題にする予定になっております。
0:01:34	今日、ヒアリングを行うんですけど、
0:01:41	基本的には、あまり、
0:01:45	チームの修正はして、
0:01:49	資料の申請はないと思っでいて、基本的には、2 月、
0:01:54	今日のヒアリングを踏まえた資料の提出は 2 月の 3 日の
0:02:00	13 時。
0:02:03	とさせていただきます。
0:02:07	基本的にはこの今日お出しただいでる資料でそのまま審査会合をやらうと思っでいますので、一部、今日のヒアリングの中でも、例えば、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:18	暗たんなですね、記載の修正とか、あとは、この今お出しいただいている資料の中で少しページを入れ替えるとか、こういったものはあると思うんですけど、少なくとも何か新しい資料を、
0:02:31	3日までに作って、ここに入れてくださいとか、そういったものはありません。
0:02:37	ないと我々考えているので、ちょっと今日のヒアリングの中では、そういったことも念頭に置いて、少し相互の以下を確認しながら進めていければと。
0:02:50	思っています。すみません。冒頭私から先にちょっと今後のスケジュールについてお伝えしましたが、まずこの点について、日本原電の方から何か確認とか、
0:03:04	疑問点とかあればお願いします。
0:03:11	元のカミヤです。
0:03:14	今後のスケジュールのお話、ありがとうございます。ちょっと先走りますけど、午前中とか午後とか、それはまだ今後ってことですかね。はい。
0:03:25	規制庁野川ですご確認ありがとうございます。今んところ午前中を予定してます。2月の10日。
0:03:31	御社に関係ないですけど、
0:03:33	会合自体はちょっと終日やると思うんですけど、午前中を予定してますので、
0:03:38	していないんですけど、ちょっと時間開始時間が、10人それから10時半にするか、東京のヒアリングを踏まえて、考えようと思っていますのを考えているんですけど、
0:03:51	午前中を予定してますので、すみません。関係者の日程を、の確保、お願いできればと思います。以上です。
0:04:02	はい。峰カミヤですけど。ありがとうございます承知しました。
0:04:05	今日の最後に、説明時間とかその辺の話もまた今日の最後に通知させていただければと思います。ありがとうございました。
0:04:16	はい。ありがとうございますそうですね。詳細、説明時間とか、その他、
0:04:23	そういうのヒアリングを踏まえて、
0:04:27	決めるべきところは、また最後にお伝えご相談、お伝えできればと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:34	もしほかなければ、まずは日本原燃の方から、今日の提出していただいている資料、2点について説明をお願いします。
0:04:53	日本原子力発電の百瀬でございます。
0:04:56	それでは
0:04:57	資料説明させていただきます。まず、タイトルが調査データのトレーサビリティの
0:05:05	確認結果に関するコメント回答。
0:05:08	こちらの資料から説明させていただきます。
0:05:12	めくっていただきまして、3ページですね。
0:05:16	こちらの面談等で確認させていただきましたので、
0:05:20	1099回の審査会合のコメント一覧ということで、1から、
0:05:26	6ですね、全部で六戸Aと記載してございまして、
0:05:31	簡単に回答交渉を記載してございます。
0:05:34	あと、目次のように右側にあって町会、
0:05:46	あ、
0:05:47	ちょっとめくっていただきまして5ページからですね、回答になってございます。
0:05:52	まず5ページ、コメントNo. 1ということで、
0:05:56	コア観察カードに記載されている断層の破砕対面についてと、
0:06:03	ということで、
0:06:07	7ページですね、こちらがボーリング柱状図です。
0:06:12	なお、修正方針。
0:06:14	ということになってございます。
0:06:16	箱書きにちょっと記載してございますがまず一つ目、設計要求事項として、以下のように、以下を追加してコア観察カードに記載のある断層面は最低名をボーリング柱状図に記載します。
0:06:31	ことで、赤木括弧で記載しましたコア観察カードに記載されている断層面再開については、
0:06:38	観察者の見立てであることから、ボーリング柱状図に記載する。
0:06:44	その断層面は最低限の妥当性についての連続性評価において検討しその結果を記録として作成すると。
0:06:51	ところまでの要求事項として追加して、
0:06:55	実際に柱状図の記載例を下に示してございます。
0:07:00	下の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:02	絵と柱状図はですね
0:07:04	ヒアリングにちょっと書いてますが、へH24、D1の1個を0。
0:07:11	とってございます。
0:07:13	一番左側にコア観察カードの記事を衛藤抜粋したものを、
0:07:18	見つけてございまして、
0:07:20	ちょっと赤は食うをちょっと追記してございますがここ。
0:07:25	コア観察カードにはK断層と書いてある。
0:07:28	はい。
0:07:31	実際
0:07:33	今、万なかーは、これ審査資料の柱状図
0:07:38	なんですけど、ここに吹き出しで書いてございますのでこの位置にK断層、加古K断層というふうに、
0:07:46	記載するというのが修正案。
0:07:48	ちょっと字が小さいので左側にその青枠を拡大したものをつけてございます。
0:07:54	実際南中条増審査資料柱状図を作成するわけではなくて一番下の※書きの記載はですね、
0:08:03	この上司、上記方針に基づきましてそのもととなるコア観察カードの確認結果ですとか、
0:08:10	報告書中定数
0:08:12	と議員設計書。
0:08:14	千野チーム長大津。
0:08:16	を直して審査書柱状図を修正すると。
0:08:20	いう方針。
0:08:22	を考えてございます。
0:08:24	めくっていただきまして8ページ、実際にこれは参考なんですけど今回10個のコア観察カードに記載されている断層面を、
0:08:34	頭書き出してございまして、大体、
0:08:37	8行のところに、これだけの断層なり破碎点が記載されていると。
0:08:44	いうことを記載してございます。
0:08:48	衛藤。
0:08:49	続きまして9ページですね。
0:08:51	コメントのナンバー2から4。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:55	佐野中条千賀のデータですねコメント内容を踏まえた資料の修正方針についてと、
0:09:02	北米 1099 回の審査会合資料の 1-4 ですね。
0:09:07	これについての回答になります。
0:09:11	うん。
0:09:12	めくっていただきまして 11 ページはコメン等ですね関連コメントをちょっと書いてございますので、
0:09:22	実際には 12 ページからですね。
0:09:26	資料修正方針ということで、まず
0:09:30	(1) でトレーサビリティの確認に係る基本事項の追記ということで、ちょっとトレーサーに、今回、どういうことをやったかわかるようにですね
0:09:40	調査データの変更に係るプロセスを明確にするために、
0:09:44	トレーサビリティの確保のための確認の作業手順、
0:09:48	これ追記してございます。
0:09:50	追記したのは 13 ページから 18 ページになります。
0:09:56	(2) で、プロセスを踏まえた変更箇所の分類の追記ということで、
0:10:02	今回、再観察等のプロセスを踏まえて、以下の提起に基づく要綱により、各変更箇所の分類、説明を行います。
0:10:12	具体的には変更箇所一覧表ですとか、エビデンス資料における変更理由の説明において、以下の定期利用、
0:10:21	用いることとしてございます。
0:10:25	江藤三つですね、まず変更ということで、これ従前提示してたデータ、これは 833 回会合。
0:10:34	等でございますがそこから、再観察により取得したデータに変えること、この変更。
0:10:42	福祉的変更。
0:10:45	二つ目の定義でして、これ関連データの変更に伴って、
0:10:50	従前提示したデータが変わることと、
0:10:55	三つ目が修正と。
0:10:57	ということで、これは誤記転記等の間違いを正すこと。
0:11:01	この三つを今分類してございます。で、
0:11:05	米印の 2 に再観察と。
0:11:08	ということが多い。もう少し

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:10	定義というか説明させて、
0:11:14	いただいております。
0:11:16	再構築したプロセスに基づき元となるデータを、
0:11:21	作成するために行った観察なんですけど。
0:11:24	当再構築したプロセスにおけるもととなるデータに相当するものを、
0:11:29	作成しなかったために、
0:11:31	改めて行う試料観察、
0:11:34	こういうもの等、
0:11:35	あと従前提示したデータの根拠を示す記録があり、その内容の妥当性を確認するための観察、
0:11:44	をしたとき、
0:11:46	これは再観察と。
0:11:49	一方、
0:11:50	と呼んでおります。
0:11:52	(3) 番。
0:11:54	エビデンス資料の充実ということで、変更、修正前のデータを提示して た 833 回審査会合資料の、
0:12:04	該当箇所をすべての変更箇所に対して添付します。
0:12:09	あと変更理由を補足する資料を、変更修正箇所ごとに添付します。
0:12:18	修正方針となります。
0:12:21	13 ページからは先ほど説明しました
0:12:25	実際に作業の手順を示してございまして、
0:12:30	(1) と、その下にデータ名書いてある。
0:12:34	はい。と記載してございますが
0:12:38	当最新活動面走向傾斜等のデータの作業を、
0:12:43	示してございます。衛藤右側がフローズンなっております。
0:12:49	作業手順の概要としましては、
0:12:52	833 回会合までに行った D た採取については、一部の調査データについて、
0:13:00	数値等のみ記載することとしており個別の観察記録を作成していなかったことから、再観察を含む以下の手順により、
0:13:10	調査データのトレーサビリティを確保しました。
0:13:13	ここで、まず①では、要求事項を明確にして、
0:13:17	②で、それに関するデータを確認します

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:21	ね。
0:13:22	丸さんで、
0:13:24	要求事項、
0:13:26	作業手順に沿って再観察を行い、ここで記録を確認し、
0:13:32	丸野、江間、衛藤再観察の記録と従前のデータを比較して、同じであれば、
0:13:41	元となるDたで、
0:13:43	差異があった場合には⑤の方に行って変更理由、変更。
0:13:48	根拠等の明確化を行って、⑥、
0:13:56	流れになりますと 14 ページは、
0:14:00	おめくりいただきますと、こちらの観察方法ということで、項目のところにデータの種類を記載してございまして、その
0:14:10	方最新活動面ですとか層厚保険者こちらのデータを取る時の方法を整理したものになってございます。
0:14:22	15 ページからはですね、こちらの薄片観察と、
0:14:26	いうことになってございます。
0:14:29	こちらも同じように①からフローを示してございまして、①は同じように要求事項の明確化で丸2では、
0:14:41	関連データを整理して、③でまず資料が、
0:14:47	作成値が大丈夫かというところを確認して、
0:14:51	適切だった場合には、
0:14:53	この④の再観察とか、
0:14:57	ね。
0:14:59	他等ですね、⑤で、前、従前のデータと比較して、同じであったらそのまま元データと、
0:15:07	ありますね。
0:15:08	下がった場合には、⑥で、変更理由、
0:15:12	自己根拠等の明確化に行う。
0:15:15	③で
0:15:18	適切でなかった場合ということも今回まして、
0:15:22	その場合には、
0:15:23	⑦で異なっている理由を明確化した後に⑧で、
0:15:28	再作成観察、
0:15:32	安里結果の範囲。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:34	いうことをやって、求まるデータにしてございます。
0:15:41	めくっていただきまして16ページ、こちらの、
0:15:46	前回1099回の審査会合でも、少し添付、そのまま再掲なってござい ますが、学園資料の作成、
0:15:56	青、
0:15:57	ところを説明したものになってございます。
0:16:01	17ページのね、
0:16:03	センスを見るときの方法ですね、それを、
0:16:09	記載してございます。
0:16:14	めくっていただきまして18ページ、こちらの、
0:16:17	等は災対目、連続性評価ですね、これの、
0:16:21	と手順を記載してございまして、
0:16:25	手順、
0:16:28	他方法と、
0:16:30	いうところを書いてございますが、こちらの833回、
0:16:37	にもお示ししていますが以下の評価方法、
0:16:43	評価結果を用いて、衛藤行ってございます。
0:16:50	19ページから資料の作成でということで、
0:16:55	19ページ以降に
0:16:58	1099回の審査会合の標語を貼りつけてございまして、
0:17:03	そこから、
0:17:05	と修正方針に基づいて、
0:17:07	変更箇所、あと修正。
0:17:10	この理由と分類を網羅するように、選定してございます。
0:17:17	今例示として選定した箇所は、全部で16ヶ所。
0:17:20	いうことになってございましてそれを、
0:17:23	赤枠で、
0:17:25	選定した箇所を記載してございます。
0:17:32	その表がずっと続いてございまして、
0:17:42	28ページ、こちらは
0:17:45	ちょっと兵庫表も、今回分類がわかるように、追加して、修正を行いま すのでちょっと修正前後と。
0:17:54	いうところで示してございます。
0:17:58	修正後、下になるんですけどこの赤いところですね、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:04	等を、
0:18:06	修正、変更の内容の前後と、
0:18:09	いったところが変更修正の理由といった
0:18:13	記載の適正化を行うのと、あと年から、
0:18:17	三つ目ですね。
0:18:19	分類と優劣を、
0:18:22	入れております。あと少し順番もえと。
0:18:27	適正化してございます。
0:18:31	29 ページは
0:18:33	実際に 16 ヶ所を選んだもの。
0:18:37	東海てございまして、大きく変更等、福祉的変更後修正。
0:18:44	これに対してどういうのを選んでいくかというのをええ、
0:18:48	書いてございます。あと、
0:18:51	選んだ天羽を書きながら、
0:18:54	どう書いてございまして、
0:18:58	当変更。
0:19:01	の数ですね
0:19:04	五つ幅の再観察後明瞭なそれなり、結構そう、走向傾斜、菜館最新活動面、
0:19:14	あとはクエン試料の再作成。
0:19:16	そういったところを選んでございます。
0:19:18	副次的変更は、その上のところで、伴って変更したものをそこに記載してございまして、
0:19:27	そういった別に修正。
0:19:29	のところでは誤り記載の誤りであると。
0:19:33	ところを四つほど選んでございます。
0:19:37	この全部で 16 ヶ所選んで、実際に今回整備したものが、ちょっと 30 ページ。
0:19:45	から、
0:19:47	32 ページですね。
0:19:49	三枚、3 ページに渡って、
0:19:53	実際に修正。
0:19:57	もう少し具体的に変更という修正理由を、と記載した表と、あと分類を入れたものになってございます

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:07	右側に記載ページということでこちら後ろにエビデンスをつけてございますがその間も目次となっておりまして、
0:20:17	実際の
0:20:20	ところ幾つかご説明をしたいと思います。
0:20:24	まず最初に、ナンバー9ですね。
0:20:28	カンソウカ口の幅のところ、
0:20:31	はい。
0:20:34	この後これ全部説明をすると、早口でも45分とか50分ぐらいです。今ノセが幾つかあったんですけど、何かピックアップでよろしいんですか。
0:20:47	全部説明することだから、45分、かいつまんでちょっと説明、必要なところだけ、結構です。ある程度、資料見ております。
0:21:01	規制庁側から何かここをピックアップして欲しいとか、
0:21:06	あります。
0:21:07	説明してもらった。
0:21:12	リクエストするっていうのも選択肢。
0:21:20	今あれですかどこを説明しようというか、準備されてたかっていうのはありますか。
0:21:31	野瀬でございます。まず最初は一つ目は9番ですね。9番から入って、
0:21:40	次は、
0:21:42	断層名が絡んでくるところなので48から51の、
0:21:49	このシリーズというか、関連ところをご説明しようかなと思う。
0:21:55	おります。
0:22:12	カイダです。
0:22:13	そうですね今ちょっと見てこの、
0:22:16	玉突きで変更になってる48から51はこちらも、
0:22:20	それ確認したいところがあったのでそこご説明いただいて、
0:22:29	あと玉。
0:22:33	玉突きはまたそこにあるんで、ちょっと72番のところはちょっと、はい。
0:22:41	私の方で、
0:22:43	修正っていうところなんですけどこれも
0:22:48	状況を教えていただいてよろしいですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:52	学研の神戸ですけど、あとは、65 から 68 が少し 1099 回の時にやりとりさせていただいたところなので、そこをちょっと簡単に。
0:23:03	はい。よろしくお願いします。松木の部分を二つ。
0:23:08	こちらから申し上げたところの 1 例と、あと修正バージョンをちょっと天音のためっていうところで、
0:23:21	今日、
0:23:28	あ、カイダです。9 これ
0:23:33	変更。
0:23:36	また、ちょっと簡単に今日は簡単をお願いします。はい。
0:23:40	9、48、あと 65、72 という順番では、すいません。よろしくお願いします。
0:23:53	#NAME?
0:23:58	藤さん 14 ページをご覧くださいこちらのNo.9 になってございます。
0:24:02	こちらの資料の作りっていか施策としましては一番最初に
0:24:08	ちょっと右上に書いてございますが変更前というのをつけて、
0:24:13	次は変更後と、
0:24:16	こちらの、大体前回の介護でエビデンスということをつけてるものを再掲になるんですけど、
0:24:24	当変更をつけて、
0:24:27	その
0:24:29	あとからですね右上に補足説明資料、補足説明って書いてあるので、もう少し細かいところを説明をするという、
0:24:38	資料の仕立て。
0:24:40	なっているのと、
0:24:42	あと江藤分類カテゴリーがどういうものかっていうのわかるように一応、
0:24:48	右上の記載ですね、変更。
0:24:51	ですとか、修正後副次的変更と、
0:24:55	いう、この三つの言葉を変えて一応この箇所が、
0:24:59	あと三つのカテゴリーのどれかというのがわかるようにちょっと記載してございます。
0:25:06	まず 34 ページですね、こちらの変更前ということで、
0:25:11	場所ですね。
0:25:14	H24、H14 の 4.93 から 7.81 の断層学習幅野。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:22	ところなんですけど、
0:25:24	今 833 回の、
0:25:28	机上配付資料に該当箇所に赤枠をつけてございます。それが
0:25:36	左下のところで、太枠で、1.0。
0:25:41	センチというところで、以前は性状一覧表に 1.0 センチと記載してございましたと。
0:25:48	めくっていただきまして、35 ページですね、こちらは今回、再観察して、
0:25:56	実際この箇所、実測した断層課内の幅は、3.5 センチであると。
0:26:04	うん。
0:26:07	温泉になります。
0:26:12	今後、変更箇所ですというところで、36 ページに、
0:26:18	補足説明をしてございます。
0:26:22	まず最初に、1 ポツ目ですね以下のことから、断層ガウチの幅としては 3.5 センチが正しい値であるため、1 線、
0:26:32	センチから 3.5 センチに変更し変更しました。
0:26:37	当 2 ポツ目ですね、コアの再観察の結果、城田川から E V
0:26:45	オレンジ色と、銘菓使い色の、
0:26:49	粘土状部を繰り返して断層ガウチの幅としては、3.5 センチでしたということ、
0:26:55	停まんなか一下ですね。
0:26:59	写真。
0:27:01	白い破線をこう書いてございまして、
0:27:06	実際に、
0:27:07	長さがあるときにはこの矢印で書いてあるところを読んだで、これが 3.5 センチでしたと。
0:27:15	ということです。
0:27:17	コア観察カーブには全体の厚さ 3.5 ミリ、5、35 ミリと記載。
0:27:24	来るのと、あと、帯状の厚さ 5 から 12 の記載があり、
0:27:29	従前提示したデータである。
0:27:32	1001 というのは、麻生河内の家の須磨城の各市町の、
0:27:39	幅野最大値を誤って記載していたのではないかというふうに、
0:27:44	推定されてございます。推定してございます。
0:27:48	実際にちょっと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:52	当該仮称も、
0:27:54	観察カードを張りつけたのが、
0:27:56	藤糸川の下に、
0:27:59	ございまして、赤枠で、
0:28:02	衛藤囲っております。
0:28:04	右側にビジョンの厚さの記載というのと、全体の幅の記載。
0:28:11	をしております。ただ、
0:28:13	これ公開であったからといってここから転居、間違っただろうかっていうところまではわからなかったのが、今回、実際には衛藤再観察をして、3.5センチと、
0:28:26	いうふうに、
0:28:28	測定しましたので、1センチから3点を設置変更と。
0:28:33	いう整理をしております。
0:28:41	続きましてナンバー48ですね51ページを、
0:28:46	お願いします。
0:28:55	H27Pのうちの75.57から76.00メートルの走向傾斜と、
0:29:03	ことで、こちらの先ほどと同じように、変更前の資料のところでは、833回の審査会合の机上配付資料に、性状一覧表になるんですけど、
0:29:15	示してございましてここに赤い太枠。
0:29:19	のところが、
0:29:20	層厚9社の
0:29:23	朝になります。
0:29:24	34、2、87、NWと。
0:29:28	うん。
0:29:29	ここまで記載しておりました。
0:29:33	52ページ。
0:29:35	ですね、こちらの、
0:29:37	衛藤。
0:29:40	833回の資料のこちらは所机上配付資料の1になります。薄片資料になってございましてそこにも、
0:29:51	走向傾斜と、
0:29:53	いうのを記載してございましたので、それもつけて、
0:29:56	その該当箇所に赤枠赤1枠をつけてございます。
0:30:02	同じように、N34、87、Nタブ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:08	を記載してございました。
0:30:10	53 ページは、変更後と、
0:30:15	ということで、
0:30:18	今回、
0:30:20	江藤、これは 1099 回の審査会合の再掲になってございますが、今回箱書きで記載してございます通り、この
0:30:32	破碎部の、
0:30:34	最新活動面の走向傾斜、この
0:30:38	2034、87、Nダブルで、
0:30:42	代用していたんですけど、これはコアで確認される最新活動面、
0:30:49	これも見かけの傾斜が低角の割れ目であるということがわかりましたっていうのを、
0:30:55	そうです。それがですね写真、この E d y と、
0:31:00	右側のところですね。
0:31:04	水色の破線が N37、34、87、NW のトレースの
0:31:12	割れ目になるんですけど、最新活動のこの赤いところ、
0:31:16	になってございまして、
0:31:19	なのでその見かけの傾斜が合っていなかった。
0:31:23	ということで、この我々の見かけの傾斜の差 23 度から、衛藤市政の
0:31:31	復元を行ってございます。
0:31:37	で、その復元を行って、50、次のページですね、54 ページ。
0:31:46	うん。
0:31:47	記載してございますが、
0:31:49	ここの箇所の破碎部の最新活動面の走向傾斜を、
0:31:54	藤基地の割れの見かけを傾斜の差 23 度から
0:32:00	姿勢の復元を行って、最新活動面走向傾斜として N44、2、72 を推定してございます。
0:32:10	もうこのあたりを、今回、この
0:32:14	化し、この破碎部の最新活動面の走向傾斜と、
0:32:18	いうふうにしてございます。
0:32:23	江藤 56 ページが、補足説明資料と、
0:32:30	ということで、
0:32:31	今ちょっと言った説明のところをまとめて書いてございますが箱書きの一つ目ですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:38	年 3487NWの割れ目と、
0:32:43	のが最新活動面よりも見かけの傾斜が、低角度の割れ目であることから、以下の通り走向傾斜を、34、87NWからN44位。
0:32:56	72
0:32:58	変更しました。
0:33:01	二つ目のポツですね、わかるテレビで確認した結果、
0:33:10	公益崩壊によって、最新活動面の走向傾斜が取得できなかったので、
0:33:18	今回及び印のところろうの
0:33:22	江藤層厚傾斜を用いて、
0:33:25	最新活動面のコアにおける姿勢から、最新活動面の走向傾斜、これを推定しました。
0:33:33	従前提示してたデータというのは、最新活動の近傍の割れ目の走向傾斜を、最新活動面として、
0:33:43	対応していたものでした。
0:33:45	ということで、院長以下の
0:33:48	そのことから今回、
0:33:51	復元した値N44、72、
0:33:56	2の走向傾斜、最新活動面の走向傾斜を、
0:34:00	ちょっと変更しますと、いうことになります。
0:34:06	めくっていただきまして58ページですね。
0:34:10	こちらの福祉的変更の、
0:34:13	箇所になりまして、
0:34:16	こちら同じ破砕部の条線方向の説明になります。
0:34:21	同じように、
0:34:23	833回、
0:34:25	審査会合資料の机上配付資料に、性状一覧表なんですけど、
0:34:32	3章には、赤枠のところ、九州と書いてございますが条線は90というふうに記載してございました。
0:34:42	ふうん。
0:34:47	59ページですね、こちらの変更後ということで、
0:34:53	実際に、
0:34:56	最初の活動面の走向傾斜が、今回、N44、72、
0:35:05	いうことから88Rの条線が認められると。
0:35:10	いうことになります。で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:13	その補足説明として 60 ページから書いてございますが、
0:35:18	条線方向は最新化、観察面の走向傾斜を用いて、観察された条線を補正して、どう導出してございます。
0:35:28	挑戦の観察というのが適切に行われていたんですが、今先ほど説明した走向傾斜が、
0:35:37	この 44、2、70 人の変更になることにより、条線方向が 88 R に変更となると。
0:35:46	ということで、この場所は
0:35:48	福祉的変更の箇所。
0:35:51	いうふうに整理してございます。
0:35:57	で、61 ページはですね
0:36:00	実際に条線の観察位置、こちらの残資料から復命して、最新活動面 1 で、
0:36:08	警察、
0:36:10	計測してることを確認した時の
0:36:13	確認してる資料になってございまして、一番上にコア写真 5 の件でござい、記載してございます。
0:36:21	青枠で囲った部分、ここを抜き出したのが左側の保険まへん。
0:36:28	作成機と、
0:36:30	実際にこの研磨平方作った写真がその下、研磨変写真。
0:36:37	その研磨品を少し斜めから見たものが、
0:36:41	真ん中の上の段の写真になってございまして、
0:36:47	資料の切断面ですね。
0:36:54	赤井。
0:36:55	赤い矢印を書いてございますがここが最新活動面の位置になってるんですが、ここの活動面のところを入れて、条線を、
0:37:06	観察してんですけど、それが
0:37:09	左が右側の上のところですね
0:37:13	キバクをつけてございますがこれは
0:37:18	少し、
0:37:20	観察、
0:37:21	この面を観察しましたよってことで少し傾けて、
0:37:24	ございまして、この起爆
0:37:27	で囲った部分を拡大した写真がその右下の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:32	下の部分になってございますね。
0:37:34	この位置で、
0:37:37	挑戦。
0:37:39	を観察しております。
0:37:42	いうものになります。
0:37:47	62 ページは、
0:37:51	今度
0:37:52	変遷数、同じ箇所の変遷数を説明する資料になってございます。
0:37:58	この副次的変更になるんですけど、福祉的変更前と、
0:38:03	いうことで、
0:38:04	833 回の審査会合の資料では、と逆断層成分が卓越すると。
0:38:11	赤枠で記載してございますように、
0:38:14	逆断層成分型、卓越するというふうに記載してございまして、この情報 ジョセイチョウ一覧表にも、
0:38:22	各断層戦略断層というふうに記載してございます。
0:38:27	63 ページです。
0:38:31	こちらのインフェースのエビデンス資料になるんですけどそのうちのア オキの多くを中途追加してございまして、この青枠の部分が編成すに関 する、
0:38:43	部分になってございます。
0:38:46	江藤箱書きのところに記載してございまして、
0:38:50	最新活動面の変遷数は、正断層成分が卓越すると。
0:38:58	実際に、
0:38:59	それを見るかっていうのは下の、
0:39:03	は、薄片資料を薄片資料に、構造ですね、1 面ある場面を記載してござ います。
0:39:16	64 ページが
0:39:19	即説明になってございまして、薄片試料の観察自体は適切に実施されて ございましたが、
0:39:28	等層厚傾斜ですね。
0:39:30	今年度 44、72 になったと。あと条線方向もそれに伴って 88R。
0:39:38	この変更名になることによる、
0:39:41	傾斜方向が、西傾斜から、東傾斜に変更となるため、
0:39:48	江藤変遷というのが正断層成分が卓越する。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:53	いうところも変更になる。
0:39:56	なので、こちらの変更も福祉的変更であるというふうに、
0:40:01	整理してございます。
0:40:06	めくっていただきまして 66 ページです。
0:40:11	からおんなじ、このような破砕部なんですけど、
0:40:16	833 回の審査会合。
0:40:19	形状配付資料。
0:40:21	では、ここの箇所ですね、赤枠で囲ってある箇所なんですけど、
0:40:26	江藤新居左上に非モデル化は災対というふうになって記載してございまして、
0:40:33	犯行前は非モデル化されたいというふうに整理してございます。
0:40:39	67 ページ。
0:40:42	またこちらも変更前ですね。
0:40:46	ちょっと会合資料というよりも
0:40:50	東海林衛藤 833 回の会合の後に、江藤資料を提出してございまして令和 3 年 7 月 16 日に、
0:41:01	分布図を、
0:41:03	提出してございますので、それを貼り付けたものになってございます。
0:41:15	変更前と後 68 ページの変更後と、
0:41:21	いうことで、
0:41:23	ちょっとこうですと
0:41:26	どういうふうに変ったかってのはわからないんで、後ろの方で少し並べてどういうふうに変ったかってのを説明いたします。
0:41:33	69 ページからあと補足説明ということで、まずこの破砕対面がどう変わったかということで、今回変更した施設 27、2 の 1 項、深度 75.57 から 76 の、
0:41:49	浅井部を起点として、近接するボーリングですね、B1-1 孔、これキタガワのようなんですけど、それと、
0:41:58	あと B の 2 行、一、二十名の B の 2 個、こちらの南側、
0:42:02	これでちょっと確認した破砕部との連続性を検討してございます。
0:42:10	その検討した。
0:42:13	ものが表として、書いてございまして一番上が起点の破砕ですね、H27 P の 1 個。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
 発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:21	の、ちょっと破砕部番号で書いてございますが 14 番、
0:42:25	こちらを起点として、
0:42:28	イトウ、
0:42:29	植野側が、キタガワにある D1 の 1 個で、
0:42:34	下の段が南側にある P の 2 行を並べてございます。
0:42:41	あの、
0:42:44	当 833 回でご説明してるんですけど、そ起点の破砕部に対して、
0:42:51	走向傾斜、プラマイ 20° の範囲をまず選ぶというのが、
0:42:58	当然、原燃の連続性評価のまず、評価の方法になってございまして、
0:43:04	それも、
0:43:05	選んだものが緑ハッチがかかったところになります。
0:43:10	この緑張っちゃう部分が来てんの。
0:43:15	破砕部から ±20° の範囲の中に入っております。で、
0:43:20	さらにそこから、
0:43:24	起点の走向傾斜と、
0:43:28	ここに選んだ緑ハッチのところの走向傾斜の差がプラマイ 20 度の範囲について連続しますというのが、
0:43:39	連続性の基準になってるんですけど。
0:43:42	実際に差を入った時にプラマイ 20 度の以内に入っているのはこの青枠がかかった。
0:43:49	H24P1-1 の 11 番ですね。
0:43:55	ここにをかけてございますがここが
0:43:59	対象の破砕部との走向傾斜の差がプラマイ 20° 以内であると。
0:44:05	はい。
0:44:06	次に、
0:44:08	双眼区分、断層株フジイ断層角れきの有無。
0:44:14	ですね、こちらが
0:44:16	明示してるかという基準も見らるんですけど、
0:44:21	実際に肉眼であり、
0:44:23	その
0:44:24	他ではなしになってるんですが、
0:44:26	江藤、同じということで、類似してるということで赤枠をつけてございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:32	隣ですね条線方向とあと変位センスのところ、村崎枠をつけてございますが、
0:44:40	これに関しても、
0:44:43	類似しているかというので見たところ、類似してるということで、
0:44:50	実際にこの基点一、二十7B-1の、
0:44:54	⑭というのは、H24P1の事項の⑩、一番、
0:45:01	これに連続すると。
0:45:03	いうふうな評価をしてございます。
0:45:07	Bの2項の方はですね、
0:45:11	連続性評価に立つような破碎部の見つからなかったということで、上の2行への破碎部とは連続しないというふうに、
0:45:19	評価をしてございます。
0:45:22	この破碎部については非モデル化としてたんですが、
0:45:28	F-01-1-11、
0:45:31	これに変更となりまして、
0:45:34	これも江藤走向傾斜ですとか変遷数が変更となったことで、連続性評価の変更と、
0:45:42	ありますので、福祉的変更と、
0:45:46	2本整理してございます。
0:45:48	反発の返ったのが、70ページになってございます。
0:45:55	左側に変更前と右側に変更後となってございまして、赤枠で囲った部分が、今回
0:46:06	対象破碎部の、
0:46:09	破碎対応を示してございます。
0:46:14	まず、赤枠のところの説明ですね箱書きの上の段ですね、H2411-1孔のF-D1-1-11、浅井田井が、
0:46:26	Bの1項の14に連続すると評価したということで、この赤枠、
0:46:32	ませんが、Bの1項まで、
0:46:38	連続するという線を書いてございます。で、この
0:46:42	朝日を連続することで、衛藤、今までD-33棟、
0:46:48	湯浅板井だったんですが、こちらがこの赤枠のは最下位で、
0:46:56	られることで、南方には連続しないということで、変更後は、
0:47:02	赤枠の破碎体の手前で止まっていると。
0:47:07	ここはB33の破碎体の分布を変更したことで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:12	今度 F の、
0:47:14	ビンの 1-16 の破砕体
0:47:17	で
0:47:19	藤北野北方に連続することになったと。
0:47:23	あと右側の変更左の変更前を見ていただくとこの、
0:47:28	衛藤。
0:47:29	青枠の左側の枠ですね F の中、 A-1-16 というのが、 D-33 で止められてるんですけど、これが
0:47:42	南方に連続しないことで、逆にこの破砕体は、
0:47:47	北方に連続するというふうに線を書いています。
0:47:52	この
0:47:54	朝 1 杯。
0:47:59	向後のところに青枠だけ書いてある下の青枠の部分ですね、ここには
0:48:06	F-B1-1-10 という破砕点があったんですけど、これ
0:48:12	F-V1 のうち、
0:48:14	-11 は災対のみ。
0:48:17	南方に連続しないと評価したため、変更前の、
0:48:22	ピーク 15、これ、
0:48:25	分布図なんですけど、ここにおいては
0:48:29	はい、どうぞ。
0:48:30	現れないということで、
0:48:33	記載をしなくなったと。
0:48:37	いうことで、
0:48:39	分布図としては、一つの
0:48:43	連続
0:48:46	連続性評価を、
0:48:48	香港なったことでいくつか、全体として変更になりましたというのを説明したものになります。
0:48:59	無償がこの H27-1 項の 75.57 から 76 の破砕部。
0:49:06	の、
0:49:07	一連の変更の説明になります。
0:49:19	続きましてナンバー 65 ですね、
0:49:24	資料で言います等 78 ページ。
0:49:28	からですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:38	あ、はい。
0:49:40	78 ページは
0:49:42	変更前、
0:49:44	いつも変更前のことを記載してございまして、
0:49:50	今回、H27、10-2 孔の 60.26 から 60.69 の破砕部の、
0:49:56	DたNo。
0:49:59	本校に関して、説明があるんですけど、
0:50:03	本来だと性状一覧表を示すんですけど、ここに関してはですね性状一覧表に記載数値の記載とかがないので、
0:50:12	当発見資料に書いてある。
0:50:15	60.58 というふうに記載してましたということで、
0:50:19	各園資料の机上配布指導を記載してございます。
0:50:30	69 ページが実際に今回確認して、
0:50:34	江藤会長の葛西久野最新活動面の進路を衛藤、
0:50:40	確認したところ、
0:50:42	最新活動が 60.59 メートル。
0:50:47	認定をしてございます。
0:50:52	この説明、補足説明資料、補足説明としまして 80 ページで、
0:50:57	してございますが、
0:51:00	まず
0:51:01	衛藤氏、朝日新免の進藤 60.58 から 60.59 に変更します。
0:51:08	もう、
0:51:09	これはですねコアを再観察して、60.59。
0:51:13	藤。
0:51:17	真ん中下ですね、
0:51:20	コアをコア写真を拡大した枠のところに、
0:51:24	赤矢印で書いてございましてこの赤い矢印をつなぐ線をちょっと、
0:51:30	白い破線で書いてございますが、ここう。
0:51:34	最新活動面と、
0:51:37	多分、
0:51:38	確認してございます。で、
0:51:42	小牧の三つ目ですね、従前提示していたデータの最新活動面、
0:51:47	60.58 と記載してございましたが、
0:51:51	従前の作業プロセスでは、基となるデータに相当するような記録が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:58	作成していなかったために 60.58 と。
0:52:03	ふうんお伝えした根拠が、トレースできなかったと。
0:52:09	ということでございます。で、今回実際にコアを再観察して、60.59 という、最新活動面を認定したので、
0:52:21	衛藤、そちら、
0:52:24	を本校すると。
0:52:26	今になります。
0:52:34	めくっていただきまして 82 ページ。
0:52:37	こちらの同じ破碎部の走向傾斜になってございます。同じように、従前適してた資料の性状一覧表に赤枠をつけてございまして、
0:52:51	今までは N18、77W というふうに記載してございます。
0:52:58	もう、
0:52:59	あと変更後ですね 83 ページをご覧くださいますと、
0:53:07	衛藤。
0:53:10	左側に小ホールの
0:53:12	展開画像等、右側にコア写真をつけてございますが、
0:53:17	とか。
0:53:19	この最新活動面の 1 の走向傾斜がアイヌ 31、88 S E であった。
0:53:27	ふうんしても、
0:53:29	江藤でございます。
0:53:32	これはボーホールの展開活動のちょうど真ん中の辺りに赤枠つけてございますがこの一型のちょうど最新活動面 60.59。
0:53:43	トレースした線であるというふうに認めて、
0:53:47	江藤税所活断層後継者というふうにしてございます。
0:53:57	を、84 ページはその節補足説明資料になってございまして、
0:54:03	最新活動面の変更に伴い、60.59 のせん断面における、
0:54:08	層厚保険者である M。
0:54:10	31、88 S、
0:54:14	本校となります。
0:54:17	はい。なのでこれは福祉的変更という整理をしております。
0:54:21	従前のデータ取得に用いたボーホールテレビますのでは、
0:54:26	60.59 のせん断二相。
0:54:29	該当するトレース線の記載がなかったことから、今回の再観察に伴い、
0:54:35	耐専の追加を行った上で走向傾斜を取得してございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:40	従前提示してたデータというのは、データ取得時のボアホールカメラな一画像ですね。
0:54:47	もう1点、60.58に相当する不連続面の須藤トレセン。
0:54:53	方。
0:54:54	あと、
0:54:56	本破碎部の走向傾斜等、推定され、推定してございます。
0:55:01	これでいいますと
0:55:03	バーバルテレビの
0:55:05	赤枠つけた下のところですね。
0:55:09	Mの、
0:55:14	水色の、
0:55:15	まず、吹き出しを書いてございますがその走向傾斜を衛藤、従前提示していたものになるというふうに整理してございます。
0:55:31	めくっていただきまして86ページ。
0:55:35	こちらの条線方向を説明した資料になってございまして、
0:55:41	こちらですね、以前は性状一覧表には60
0:55:46	アールというふうに記載してございました。
0:55:49	今回、87ページに記載の通りですね
0:55:56	走向傾斜がN31位、88S E。
0:56:01	あることから、75Lの条線が認められると。
0:56:08	ことを観察してございます。で、
0:56:12	その説明が88ページ。
0:56:14	かなりなっております、
0:56:17	条線方向は、最初に観察面の走向傾斜を用いて観察された条線を、
0:56:24	補正して導出して、
0:56:27	ございます。
0:56:29	条線の観察は適切に行われていたが、
0:56:33	走向傾斜がN31、88、S2、
0:56:38	変更になる。
0:56:39	ことにより、条線方向が、
0:56:42	75L、
0:56:45	に変更となるため、ここも福祉的変更という整理をしてございます。
0:56:53	この最新活動面である条線観察位置ですね60.59において、試料を採取し、今回設定したと節によって観察した条線方向により、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:07	当時の観察面は正しいことを確認してございまして、
0:57:11	それは
0:57:12	越冬後、89 ページですね先ほどと同じようにコア写真から現場へん。
0:57:19	作成地ですね、あと研磨編を、
0:57:24	斜めから見て、資料、断面、
0:57:28	何。
0:57:29	並べて、
0:57:31	資料の断面、
0:57:35	最新活動面を赤い矢印で書いてございましてこの、
0:57:39	聞こえ
0:57:43	抜き出したのが、
0:57:48	上の起爆の部分ですね。
0:57:52	その部分を拡大したのが、右下の絵と写真になってございまして、
0:57:58	ここの部分で、挑戦。
0:58:00	観察してございまして。
0:58:07	ね、当時の
0:58:10	条線の観察というのも、最新活動面、
0:58:13	60.59 点を実施されていたということを確認してございまして。
0:58:18	正しい最新活動面で実施していた。
0:58:24	理由については条線観察時に、最新活動面の見直しが行われていたと、 いうふうに推定してございまして。
0:58:38	90 ページからが
0:58:42	コンセンス。
0:58:43	を説明した資料になってございまして。
0:58:46	こちらは
0:58:48	薄片観察資料を記載してございまして、薄片観察資料では、従前、
0:58:53	なお、江藤記載としては、
0:58:57	左網ずれを伴う逆断層であると。
0:59:01	いうふうに記載してございまして、性状一覧表にも、そのように記載し てございまして。
0:59:09	今回観察したけ。
0:59:12	衛藤。
0:59:13	あれですね、91 ページになるんですけど、
0:59:18	枠のところに記載してますと、ぜひ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:21	ここの最新活動面の変位センスは正断層成分が卓越する。
0:59:28	うん。
0:59:29	質問あります。
0:59:31	これは 92 ページの補足の説明をしてございますが、
0:59:37	薄片試料の観察自体というのは、
0:59:41	適切に実施されていましたが、走向傾斜ですね。
0:59:46	あと条線、こちらの変更になることにより、傾斜方向が西傾斜から東傾斜となって、条線方向が高角度に変更となるため、
0:59:58	変位センスというのが正断層が卓越する。
1:00:03	何変更となりまして、
1:00:06	なんでこちらも福祉的変更というふうに、
1:00:10	整理してください。
1:00:19	薄片が、
1:00:21	正しい値で、
1:00:23	作られていたかっていうのを説明したのが 93 ページとかになってございまして、
1:00:32	最新活動面に直交でかつ条線方向に平行であると。
1:00:38	いうことを確認してございます。それが
1:00:45	現場の写真、左側に見せん写真を記載してございまして、
1:00:51	あと下水道の線が、最新活動、
1:00:55	なっております。で、
1:00:59	紫の線が、資料を切断する方向で、
1:01:04	ボーリングのくし方向を緑色で書いてございまして、
1:01:10	この区史方向と最新活動面の位置ですね、あと、資料の切断方向、これについては、コア写真、
1:01:21	を利用してその位置が適切であるというふうに確認してございます。
1:01:32	あと、94 ページ、こちらの、
1:01:40	派遣資料の作成箇所について、
1:01:45	資料の断面方向を確認してこの写真に、X方向と、
1:01:50	いうのを書いてございますが、それが正しいことを確認した絵と、
1:01:56	なっております。で、
1:01:59	トウソウ後継者の変更に伴ってZ方向というのは、下の最初、
1:02:07	それは切断写真、記載した方向等逆向きになつてございまして、
1:02:17	なっております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:22	院長が、
1:02:26	ここの火砕物の一連の変更の説明になります。
1:02:38	170 ですか。
1:02:41	95 ページ。
1:02:46	95 ページですね、
1:02:49	香港、
1:02:50	H27P-2 の、88.38 から 88.43。
1:02:57	衛藤最新活動面の深度というところで、
1:03:01	修正という整理をさせていただきますね、修正前と。
1:03:06	ということで、
1:03:07	変更前の資料としましては、
1:03:12	性状一覧表を今つけてございますので性状一覧表に
1:03:18	そっちの記載というのはないんですが、矢印で、
1:03:25	最初の活動の命中を記載してございます。
1:03:29	この
1:03:31	見ますと、青枠囲った部分ですね、5月の対象の
1:03:39	浅井空になってございましてこの赤矢印。
1:03:45	最新活動の1になってございまして、これ4と88.4-1を提示してござ います。
1:03:55	後、
1:03:58	80、96 ページには同じ会合の資料の薄片編の資料を記載してございま す。昨年資料にも、
1:04:09	最新活動面を書いているんですけど、こちらでは深度 88.43 と、
1:04:17	日本国債を、
1:04:19	してた。
1:04:20	あんだらうか。
1:04:23	今回 90、
1:04:27	7 ページですね、97 ページで、江藤、最新活動面を認定しているんです けど、
1:04:34	肉眼では、最新活動面が 88.4 か、18.43 メートルかを判断できなかつ た。
1:04:43	ということで、CTO、利用してございます。
1:04:47	CTO 見ますと、より直線的である 88.4。
1:04:54	いうところを最新活動面であるというふうに認定してございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:02	98 ページは補足説明資料になるんですが、
1:05:07	以下のことから最新活動面の深度を 88.43 から 88.4 に修正しました。
1:05:16	ここは井川観察では、最新活動面が判断できなかったなので、C T 画像を利用して、最新活動面が 88.42 メートルであることを確認しました。
1:05:29	従前の薄片観察結果に記載した D た、深度 88.43 というのは、取得時に C T 画像を用いて最新活動面を
1:05:40	18.42 というふうに認定し、
1:05:43	該当するせん断面で走向傾斜の取得、あと条線観察、
1:05:48	あとはクエン試料の作成というのを行っていたんですが、進藤。
1:05:55	薄片の監査通資料に記載する時に、誤って 88.43 というふうに記載していたというふうに推定してございます。
1:06:06	性状一覧表には新しい最新活動面である 88.4-1 に、
1:06:12	赤い矢印を記載していた。
1:06:15	混線してございまして、
1:06:17	なのでこの位置につきましては、88.4 に修正すると。
1:06:25	ものでございます。
1:06:34	藤。
1:06:35	99 ページからは実際に、
1:06:39	あと、同じ箇所ですね、走向傾斜とかを説明してございます。
1:06:45	もう、参考という位置付けなんですけど、
1:06:49	まず 99 ページが走向傾斜を示してございまして、コアにおける
1:06:55	宮岡、はい。
1:06:57	風化色の、
1:06:59	細粒分が幅狭く、上端下端のところに平行に分布しているため、
1:07:06	ホールテレビ画像では細粒分の
1:07:09	当協会が、明瞭な上端の連続名、こちらのトレースしてございます。
1:07:15	最初の活動面の走向傾斜というのは、従前のデータから変更なく、
1:07:24	あと、M26 E 84、
1:07:26	うん。
1:07:29	ということで、変更はない。
1:07:32	100 ページですね、こちらの同じ破碎部の条線。
1:07:38	なるんですけど、
1:07:39	走向傾斜、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:42	条線は走向傾斜の地域で観察された条線を補正して導出してございまして、
1:07:49	観察時点は適切に行われていました。
1:07:55	等観察が適切に行われていたというのを確認したのが、100、
1:08:02	なっております。
1:08:04	先ほどのような最新活動面が 88.42 で計測してることを確認してるんですけど、
1:08:11	同じようにコア写真から抜き出して研磨編作成位置の、
1:08:17	ところを拡大してございまして、赤い矢印の最新活動面を指してござい
1:08:23	ます。
1:08:27	これは元閉ん
1:08:31	写真ですね、と、あと、資料の断面、
1:08:34	を並べて、
1:08:39	実際に観察挑戦を観察してる場所を見ますとこの赤い
1:08:47	矢印の 1 ですね、最新活動面といったところ、
1:09:02	計測してるということを確認してございまして。
1:09:04	はい。
1:09:06	以上、ページ、
1:09:10	72 までですかね、
1:09:15	先ほどお話のあった変更の、
1:09:20	修正資料の説明となります。
1:09:27	その一
1:09:31	このまま終わりまで説明しちゃいます。
1:09:35	相田です。同じ資料で、5、
1:09:42	コメントNo.5 は、そのところですね一通り高齢者、
1:09:43	外しました。
1:09:54	それではですねコメント No. 5 ということで、111 ページからになります。蔵本となるデータの確実な反映と、
1:09:56	ということで、
1:09:59	回答はですね 112 ページ。
1:10:01	なっております。
1:10:12	この 833 回審査会合でのボーリング柱状図基準の結果に関するご指摘、
	あと、その指摘を受けた原子力規制検査の状況等を踏まえて、
	あと再構築しましたプロセスに基づいて審査資料を作成することと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:18	してございます。
1:10:19	ボーリング柱状図についてはもう元となるデータに基づいて肉眼観察による結果を作成していくと。
1:10:27	ということと、あとその他の、
1:10:29	調査データについては、
1:10:32	基となるデータに基づきトレーサビリティが確保されたデータとして、審査資料に反映。
1:10:38	するとともにトレーサビリティの確保のための、
1:10:41	確認の結果、
1:10:43	あと従前の審査会合で提示していたデータからの変更、修正が生じた場合には、
1:10:49	やっぱその、
1:10:51	本件に係るエビデンスや理由も明示して、
1:10:54	審査資料として作成していきます。
1:10:58	残りの 58 行の柱状図についても上記方針に基づいて元となるデータの観察結果を確実に反映したものと提示していきます。
1:11:10	野川の回答。
1:11:14	続きまして、13 ページ、113 ページですね、コメント No. 6 ということで、
1:11:22	提出した審査資料にかかる
1:11:27	不適合管理、設計開発等の業務プロセスについてと、
1:11:32	ということで、
1:11:34	まとめてございます。
1:11:39	115 ページですね、こちらに
1:11:42	等をまとめてございます。
1:11:46	まず下の一つですね。
1:11:48	左側にフローを書いておりますが、
1:11:53	要求積要求から始まって最後審査指導ができるまでを、フローで書いてございます。で、
1:12:02	色分けがいくつかついてございますが、
1:12:06	黄色、こちらの設計開発のプロセスを示してございます。
1:12:11	水色が調達管理のプロセス。
1:12:15	ピンクの部分が外部コミュニケーション、江藤文章作成ですね、こちらのプロセスを示してございます。この中で、確認された

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:28	衛藤加古の、
1:12:30	Dたとのサービスが、
1:12:33	この確認したことで、ちょっと今矢印真ん中ほどに書いてございますが、
1:12:38	不適合管理として、オレンジの、
1:12:42	ところで、不適合管理プロセスを、
1:12:45	お願いしております。
1:12:49	箱書きのところですけど、今回新たに構築したプロセスに基づき、トレーサビリティを確認したけデータと、あと括弧の、
1:12:59	品質記録のDた2、
1:13:02	差異があったものについては不適合管理として、助教、発行してございます。新たに、
1:13:09	構築した設計開発プロセスにて変更管理を行い、
1:13:14	あと技術設計資料に反映して、外部コミュニケーション、文書作成プロセスにて、K断層の連続性評価の、
1:13:24	審査資料として作成してござい。
1:13:28	1099回の審査会合資料はこのK断層の連続性評価の審査資料から作成したもので、必要な
1:13:37	不適合管理、
1:13:39	設計開発のプロセスが適切に
1:13:42	行われて、
1:13:43	いるもの、
1:13:46	不適合管理のうち2K断層、連続性評価の審査資料の提出と、
1:13:52	いうのは今後の今後実施予定であると、いうふうに整理してございます。実際にちょっと、
1:14:00	クローネ
1:14:02	ながらですね、今書いたことを説明しますと、
1:14:07	一番最初のスタートのところですね
1:14:09	要求事項を明確化してございます。この中で、
1:14:15	下線を引いてございますが、流設計資料に係るデータの出典が品質記録で不備等の変更が必要になった場合には不適合管理を行うと。
1:14:26	いったところですかトレーサで行って確認の結果、
1:14:30	変更修正等が必要な場所についてはエビデンスでまとめるという要求をしてございます。で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:38	その下で、調達管理の中で、要求事項を含めた、
1:14:43	作業手順の明確化で、
1:14:46	あと括弧の品質記録の妥当性ですとか記録がない場合には再観察の議事録を作成し、
1:14:53	そうすることで、
1:14:56	当括弧の品質記録のデータの一部に、今回、トレーサビリティを確認したデータとの差異を確認して、
1:15:04	江藤、オレンジの方の、
1:15:06	不適合管理を発行してございます
1:15:08	この中で対策。
1:15:11	もう、
1:15:13	挙げてございまして①から③まで。
1:15:16	あります。
1:15:17	①が、
1:15:19	確保の品質記録との差異の内容を確認して元となるデータへの変更理由及び根拠を明確にするということで、
1:15:29	こちら 10 本分 K 断層につきましては、22 年の 8 月に完了してございます。
1:15:36	ここと関連するところをですね赤い
1:15:39	破線のほうで示してございますがこの黄色い部分のところで、
1:15:43	衛藤。
1:15:44	内容確認してございます。
1:15:46	②の対策ですね、過去に提出した審査資料を修正すると。
1:15:53	たところでは K 断層の連続性評価の資料、
1:15:56	そして、まとめて、こちらについても 8 月、
1:16:01	末に完了してございます。で、
1:16:04	ここはですね破壊波線でも書いても下から三つ名の枠のピンクのところですね、断層の連続性評価の審査資料として作成審査承認すると。
1:16:15	これを行ったことで、
1:16:18	対策として完了をしていると。
1:16:21	三つ名、対策の三つ目で、この修正した審査資料を審査会合として提出するというふうに、
1:16:31	対策として挙げてまして。
1:16:34	この K 断層連続性評価の資料。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:38	を提出して初めて完了となるんですけど、こちらの今回、
1:16:44	時計断層の連続性評価を提出するっていう前に、今回の調査データの変更箇所の確認トレーサビリティの確認というところをやってございまして、ここの部分が、
1:16:56	完了していなかったと。
1:16:59	ということで、この部分は、このデータの下、確認に係る審査会合での審査、
1:17:07	終了後に、この提出、
1:17:10	をもって完了。
1:17:12	等ということで今後提出予定という整理をさせていただきます。
1:17:17	はい。
1:17:19	衛藤。
1:17:21	コメント回答の資料の説明は以上になります。
1:17:29	はい、ありがとうございました。じゃあ、ちょっとスケジュールの方は置いておいて、こっちの資料の方で、今ほどの説明、
1:17:39	あった点について、
1:17:42	こちらから確認していきたいと思います。
1:17:48	でも、まず私の方からなんですけど
1:17:51	あくまでちょっと今日は内容の確認ということで、現状どうかっていうところを中心にお伺いしていきたいと思います。まず
1:18:02	コメント1のところではNo. ナンバー1ですね。
1:18:07	7ページなんですけど、
1:18:11	これ観察カードを、
1:18:15	ある断層面の記載を、
1:18:18	設計優秀事項としてこれ、
1:18:22	以降、ずっと帰って、
1:18:25	以降の柱状図を残していくっていうことで
1:18:28	コメントの回答かなと思ってます。これは
1:18:33	僕の内容云々というよりは、
1:18:37	例えば
1:18:39	審査資料の柱状図として、修正案としてここにここであれば計算するという記載が、
1:18:46	今後追加になってくるということなんですけど、
1:18:51	K断層というのは追加されるだけで例えば、欄外とかに、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:56	何か注釈みたいなのかつけたりとかする予定とか、その辺のところまではまだ、特に、
1:19:03	検討というか
1:19:05	変えてなくて、まずは正断層とか、
1:19:08	層面を残すっていうところは、
1:19:10	わかったんですけども、そこまで今ちょっと、
1:19:13	示していただいてるってことでいいですか。注釈とかで、
1:19:17	のちのちも
1:19:19	我々知ってるんですけど、
1:19:22	知らない人が見たときに何かっていうのもあるし、
1:19:26	先行のサイトとかで、途中で断層面が変わった場合とか何か注釈をつけて、
1:19:32	断層名はそのままにして、
1:19:34	いうところがあったりするんですけど、その辺りもあるんですけど、何かお考えとかありますか。
1:19:50	連盟の野瀬でございます
1:19:52	注釈をつけるとかまでは、整理してなくてまずは、
1:20:00	細かな記載してあったものについては、記載しますと。
1:20:05	で、ちょっと会議の中でも話がありましたけど、実際にそれが本当に形なのかとか、浅井他のかっているのは、ちょっとかぎ括弧の中も、
1:20:17	その他は最低限が妥当なのかについては
1:20:23	連続性評価において検討して
1:20:26	黄色結果を記録として作成するっていうところでちょっと整理をして、ちょっと紐付けまではどうするかはわかんないんですけど、一応
1:20:35	それがそのまま正しいかどうかという、整理をしようというふうに考えてございます。
1:20:42	カイダわかりました今現状今回はコメント回答の範囲で残しますというところで、
1:20:48	内々その辺の
1:20:51	資料の体裁等はまだこれから検討されるというところでそこは承知しました。はい。
1:20:59	わかりました。じゃ、引き続きまして、
1:21:05	今回は、
1:21:11	前回からの修正箇所をいろいろ整理されて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:17	一覧表でいくと、
1:21:19	30 ページ以降ですかね、
1:21:24	今回、整理されたと。
1:21:27	いうところなんですけれども、
1:21:31	これ今、あくまで、
1:21:34	その前のページとかにある、
1:21:36	1 例として整理しとして示す部分について、
1:21:41	この一覧表が聞いているんですけども、
1:21:45	現状、これ、他の、全部でいうと 150 幾つになると思うんですけど、それはどうな今現状どうかっていうのちょっと確認させていただきたいんですが、
1:22:00	全然ノセでございます。江藤。157 ヶ所に今後同じように展開していくというところなんですけど、それについてはまだそんなに手をつけて、
1:22:13	なくて、
1:22:15	同じように整理をしていきますといったところでございます。
1:22:23	相田です。わかりました。
1:22:25	そうすると例えばこれ、12 ページとか、
1:22:31	今ご説明があったんですけど、カテゴリとしては変更副次的変更、修正の三つに整理されたということで、
1:22:41	今お示しいただいてるのはその三つなんですけど、
1:22:46	今後、他のところも全部整理していく中で、
1:22:51	これがまた増えてくるかもしれない。
1:22:55	ところなのか。
1:22:57	ある程度のところまでできていながら、ちょっと細かいところはできてなくてこのカテゴリ自体はもう変更はない。
1:23:05	とか、その辺の、
1:23:07	全く手つかずだとか、うん。
1:23:10	どういうところまでいってるのかっていう、ちょっと、差し支えない範囲で教えていただきたい。
1:23:17	県の小野瀬でございます。もともとはある程度その理由を整理して、150 名なあ。
1:23:28	整理してございますので、
1:23:30	今回、同じように、この代表例と同じように整理しても、
1:23:38	新たなカテゴリーはないかなというふうに思っております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:50	はい。患者です。わかりましたじゃ
1:23:53	そうすると
1:23:56	今回は前回から変更になったなっていうのは、
1:24:01	カテゴリーのところが増えたとか、がこうな。
1:24:06	あと修正義務っていうのは、ある程度、
1:24:11	巻き直しをされてると思うんですけども、
1:24:16	このカテゴリ分けまではちゃんと終わってるとか、でもなくてまだそこ までちょっと、ある程度のところの範囲で、
1:24:24	あと修正理由は当然今後、今、
1:24:27	さらに精査していくという、そういったところ。
1:24:31	なあということで、
1:24:33	いうのがちょっと今聞いて思ったんですがそういう状態っていうことで すかね。
1:24:43	ノセでございます。分類を改めて全部 157 やってるかというのと、そこま ではやってないんですけど、
1:24:52	修正とか変更理由のところろうですねもともと、前回書いた記載が結構
1:25:01	画一的な記載になってるんですけど、実際もう少し具体的な内容は、あ る程度把握を。
1:25:09	通しておりますので、今回、
1:25:14	合わせてそこをもう少しブラッシュアップしていくってのはこれからな んですけど、新たにそうやったとしても、分類として、新しいのが発生 することはないかなっていうふうに考えているといったところでござい ます。
1:25:34	原燃の神谷ですけども、少し補足をさせていただきます。
1:25:40	今回全体として、100 ページ以上の資料になってるというのがボリュー ムとしてちょっと多いかなみたいなお話があったんですけども、それ は、
1:25:52	まさにこの例示をする箇所をですね、157 項目から 16 項目を選びまし たと。
1:26:02	これがですね
1:26:03	次に、これで審査会合で議論させていただいて、
1:26:08	厳然としては、
1:26:11	今回この 16 ヶ所を選ぶことによって、157 ヶ所も、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:16	作業はあるんですけども、基本的に同じ考え方で 157 ヶ所のエビデンスであるとか、変更理由を、つくれるだろうという観点で、
1:26:27	網羅的には選んだというのがございます。その時にこの分類は結果的に三つのある種大きくくり
1:26:39	なのかもしれませんけども、この三つ自体がですね 157 にはですね、厳密に社内のプロセスとしてそこまで確認してませんけども、こういった方法、
1:26:50	90%以上はですねこれで 157 項目は展開できるだろうというちょっとやりとりは社内ではしてございます。
1:27:01	それから、ちょっと行政の説明はですね後のエビデンスで、補足説明というところを、幾つかつまって、
1:27:09	説明させていただきましたけども、
1:27:12	30 ページ 31 ページのこの変更理由のところはですねこれ見直し、
1:27:19	ごめんなさいのかな。
1:27:20	昆今回、今回見直した例示の変更箇所なんですけど、従前のある種セルを結合して、まとめて書いていたところがあるんですけどもそれをもう各項目ごとに、
1:27:33	きちんと分けて、
1:27:34	変更、変更修正の理由の欄を書いています。ここに書いてある情報はですね、今説明では省略しましたけども、
1:27:45	補足説明というところの、上の箱書きに書いてある情報を、この表の、この試験講習整備のところに、
1:27:54	基本的にはほぼコピペの形で帰っていると。
1:27:59	というような作業の資料の見方でございます。
1:28:04	はい。
1:28:04	ちょっと補足させていただきます。
1:28:08	カイダでした。わかりました。
1:28:12	そうですね。
1:28:14	もし現状で、全体整理されてて、例示ってということで、
1:28:21	今回お示ししていただいているっていうのであればもうすでにできてる。あれば、全体がこうです、例示はこの部分をお示ししますっていう。はい。
1:28:32	形で何かできないかなと思ってたんですけども。
1:28:37	今雛形みたいなのは全体は、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:41	まだ、
1:28:44	全く手つかずって作って使うじゃないんですけれども、
1:28:48	今ちょっとこう表に出せるような状態ではなくて、やってる状態だとい うところっていいのでしょうか。
1:29:00	現在のカミヤです。そういう作業の状況でございます。
1:29:08	わかりました。
1:29:10	はい。カイダわかりました。
1:29:13	これなんか、塩野鬼頭にして出せる。
1:29:16	ていうところもなく、やっぱり、
1:29:19	難しいんですかね。
1:29:21	というのは例えば3ページのコメントのところを見ると、
1:29:27	よくよく見ると、エビデンスの方は例示的なものをお示し、3番ですね 3番が、
1:29:36	変更箇所の前後ってというのは、ここ、これはサンプルってことなん ですけども、
1:29:43	のところってというのは
1:29:46	そういったさ、サンプルとしてではなくて
1:29:50	なっています。はい。
1:29:52	1回整理してくださいっていう、指針なので、2の方も、暴落するって いうことになれば、ある程度全体の像が見えたほうがわかりやすいかな と。
1:30:03	思ってたんですが現状ではちょっとまだそこまで行けない。
1:30:07	ということで、
1:30:12	その辺状況はある。うん。今のところの状況ってというのは
1:30:18	実施の状況わかりました。
1:30:23	それで今、
1:30:25	衛藤、まさにちょっと私の方で確認した後で確認しようと思って、
1:30:32	修正理由、変更理由のところってというのは、後を書いてある補足説明っ ていうのが、基本入ってるっていう。
1:30:40	ところのご説明だったんですけども。
1:30:44	結構そうじゃないところがあって、何で違う記載にしてるのかなって いうところを確認したかったんですね。といいますのは例えば、この31 ページの表でいきますと、
1:30:55	72、これあくまで例えばなんです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:04	これ変更理由等を見ると、
1:31:07	以下のことから 88.3 から 4 に修正しましたと。
1:31:13	C T画像において、最新活動面が 88.42 であることを、
1:31:18	確認。
1:31:20	あと、
1:31:22	その下には
1:31:25	これこれ書いてあるんですが、状況を推察してると。
1:31:31	いうところなんですけれども。
1:31:34	これの
1:31:36	補足説明っていうのは多分 90、
1:31:40	何ページですかね。
1:31:43	198 ページぐらいの。
1:31:47	うん。
1:31:51	なんですけれども、
1:31:59	98、すみません、98 で、例えばこれ 98 ページだと思うんですけど、より直線的なだから 88.42 のせん断面の最新活動面に認定したんだという、
1:32:16	今まで書いてあるんですけど、先ほどの 31 ページのところの表でいくと、C T画像を利用して、
1:32:25	88.4。
1:32:27	あることを確認したという。
1:32:29	ところで、
1:32:30	43 から 4 に、
1:32:33	の 3 が間違っていて 4 が正しかったんだと評価したのは、まさに C Tで、後ろの補足説明に書いてあるのに、
1:32:43	やっぱり最新活動面っていうのがちゃんと
1:32:47	直線的だっていうのを確認した、だからそうなんだっていうところが書いてあってそれが表にはなかったりとか、
1:32:54	あと実はよく見てみるとこれ、
1:32:58	88 点。
1:33:03	頻度が本当は 88.42 って評価してた。
1:33:07	うん。
1:33:08	幾つかの資料は既往の資料を見ると、
1:33:11	-2 のところにちゃんとチェックしてたんだけど、43 というの、2 枚、
1:33:17	全体の資料の一部の資料だけ誤記があったという、そういった評価で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:22	阪神活動面の深度自体を何か修正したというわけではなくて、もともとそういった一部の資料に誤記があったんだっていうところも、
1:33:32	それもちょっとこの最初の、
1:33:36	後、31 ページの表と下から。
1:33:40	読み通り。
1:33:41	づらかったので、てか、書いてないので、
1:33:45	その辺りは
1:33:47	この
1:33:48	全体にいえることなんですけれども、
1:33:53	なんかこう、そういったところがちょっとそこがあるなというふうに今見てるんですけれども。
1:34:01	これは後ろと前の兵庫県が、
1:34:05	合っていないようなところっていうのは、
1:34:07	これ何か理由があって、
1:34:11	別の記載になっているのか。
1:34:14	その辺ちょっと次、状況を確認させていただきたいんですが。
1:34:21	前のカミヤですけど、
1:34:27	順番をですね。
1:34:29	入れ替えたりはしてるんですけど表現が違うっていうことはない作り方をしてる。
1:34:37	はずなんですけど。
1:34:42	31 ページの 72 番のところに関して言うと、
1:34:47	98 ページの一番上の箱書きの、
1:34:54	情報等、
1:35:00	ノダですけどいいですか、この 98 ページに関しては、
1:35:05	確かに、上の箱書きと 30 ページの記載は合ってるんですけど、
1:35:12	皆さんこっちの下に認定根拠って書かれていますよね。
1:35:18	最新活動面認定根拠って言って、
1:35:21	箱書き二つありますよね記載が。
1:35:24	ここ 2 の二つ目のところに C T 画像ではより直線的であることから、深度 88.42 の診断名を最新面に認定したという。
1:35:34	本社が 88. 4 人を、最新活動日に認定した。
1:35:39	根拠が書かれたわけですよ。他方でこれが上の、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:43	一番上のころ三つは公金のところ例えば二つ目のポツですね関連するところ、C T画像を利用して、
1:35:51	いきなり結論起きてですね、最新活動面が深度 88.4 であることを確認した。
1:35:59	なぜこの認定公共より直線的であることからというのを、上の箱書きに入れれないのか、その理由を確認させてもらっていいですか。
1:36:11	何か不都合がありますか。
1:36:18	算入と御社は、この資料の中で、丁寧な審査資料とされているんですけど、
1:36:26	御社が丁寧な審査しようとするのであれば、別にこの認定の根拠上のは公金出ても、
1:36:32	いいんじゃないかと我々考えていたんですけどそうしていないっていう、
1:36:37	工夫させてもらっていいですか。海田さんそういうことですよ。
1:36:41	はい。カイダです。そうです補足いただいてありがとう。そういったことで、結局今、市原さん 11 ページと 30 ページの表を見ると、
1:36:54	C Tによってこう評価しました結論。
1:36:57	要は結論がすぐ書いてあるんですけど、一応ここは変更の修正理由っていうの、
1:37:03	ここでちゃんとわかるように、読み取れるような形で整理していただいた方が、お互い大分間違いがないかなと思って質問させていただきました。今、
1:37:16	72 番のところ申し上げたんですけど、例えば、
1:37:20	今日ご説明いただいた 65 番、
1:37:24	もう
1:37:26	コアをさ、31 ページの、
1:37:29	65 番のコメント、コアを再観察し、
1:37:32	60.59 であることを確認した。
1:37:35	なんですけれども、
1:37:37	補足説明、実際の補足説明は、同じように 1080 ページですか。
1:37:45	赤い部分範囲内では滞留
1:37:48	ここですね最尤分を伴い最も直線的であるから、
1:37:53	合計しましたという、こっちはちゃんと書いてある。
1:37:57	こういったものがこれは先ほど申し上げたように

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:00	この表全般がそういうふうになっている。
1:38:03	なので、何でそれがこういったものが、全体、
1:38:10	うん、そう、統括表といいますか総括表の方でないのかっていうのをちょっと、
1:38:15	その辺のところの資料の作成過程を教えてくださいというところが主
1:38:23	はい。全然カミヤです。ご指摘の趣旨は理解しました。
1:38:32	ちょっと今ご指摘していただいた以外のところも含めて、要するに変更となっている起点となっているところは、
1:38:41	つまり元となるデータの箱書きのところに、元となるデータとして再観察した基本的な根拠。
1:38:51	そのもの自体が、補足説明資料の箱書きの中には書かれていない。従って表の方にも書かれていないということになりますので、
1:39:02	全体的に少し作業ですね。
1:39:09	再チェックしたいと思い、特にそこに、
1:39:13	作業の作り方上の問題だけなので、
1:39:19	そこまで書くという。
1:39:21	うん。ことにしてなかっただけで、
1:39:24	藤澤君指摘されればそこまで書くとパーフェクトでいい。
1:39:29	いいでしょうということかもしれませんがちょっと変更の理由とかっていう報の言葉にちょっととらわれていたところがありますので、ちょっと補足説明の方に、元となるデータの判断根拠も、
1:39:40	書いた上で、変更の理由をきちんと書けということで、そこは作業をし直したいと思います。
1:39:50	きちんと無駄ですけど、こういう重要な記載が、しっかり適切なところに書かれてるっていうことが、
1:40:00	その資料の、今パーフェクトに言われたんす完結性があって、御社が言われている丁寧な、
1:40:07	審査資料じゃないかと我々は認識。
1:40:11	してますので、
1:40:13	これは、
1:40:14	基本的には、どこでもいいんですよ。コピペすればいいだけなんで、
1:40:22	すぐ反映できるんじゃないかと思うんですけど。
1:40:25	いかがですか。それごめんなさい、正確に言うと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:29	次回の審査会合までに反映できるんじゃないかと思うんですけど、難しいですか。
1:40:35	健全カミヤですけども、冒頭提出の期限をいただきましたので、
1:40:44	そこに、
1:40:45	間に合うようにですね、作業と社内の生公式なプロセスを踏んで、任せるようにしたいと思います。
1:40:54	わかります。日にちは2日で終わらないですか。
1:40:58	今日、火曜日の監視ですから金曜日の13時と申されましたので、明日、明後日丸々2日。
1:41:08	ありますよね。水曜木曜日。
1:41:12	プラス金曜日の午前中までに、最終手続きをするということも含めて、
1:41:19	検討、
1:41:22	実はちょっと検討いただいて、無理だったらいいです。多分会合でこんな細かいことは言わないと思います。ただ、こういったことを、
1:41:34	主務さんにしてもらえればと思う。例示だと思ってもらえれば。はい。以上です。
1:41:41	ごめんなさい。
1:41:50	はい、逸見神谷です。ご指摘承知しましたので、作業のことも含めて、確認してですね、対応できるようにしたいと思います。
1:42:01	規制庁甲斐です。わかりましたそれは可能な範囲でっていうところで説明をお願いします。それで今表の
1:42:12	3031 ページの表で、
1:42:17	今確認させていただいてるんですけども、
1:42:21	あとこの後のエビデンスとの対応との関係もあるので、ちょっとこの表の見方っていうのを教えていただきたいんですけども。
1:42:32	まず変更修正の内容っていうのがあってある、9番であれば、1センチが3.5センチになりました、麻生梶野幅についてですと。
1:42:43	いうことで、
1:42:44	エビデンス資料っていうのがその一番、
1:42:48	右から2番目、3日2番目にあった麻生李断層角れきが上がって、
1:42:54	計測結果っていうのが、
1:42:56	書いてます。
1:42:57	この辺りの関係を、
1:43:01	等確認したかったんですけども。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:05	9番であれば断層ガウジの幅そのものを、
1:43:09	変えたという評価を変えたということ。
1:43:12	そうだと思うんですけども。
1:43:16	どの資料に書いてあったものが変わったのかっていうのとかっていうのが、
1:43:23	このエビデンス資料に書いてある断層ガウジ、断層角れきの幅。
1:43:29	計測結果という資料。
1:43:32	が変わったということでもいいんですかね。はい。
1:43:35	これ、多分、ちょっと確認する先生はさっきの72番とかで、
1:43:39	最新活動面の深度88.43から4に変わりましたというんですけど、
1:43:47	ただ先ほどのご説明だと、
1:43:50	全部が全部変わったんじゃないけどもともと、
1:43:53	最新活動面の深度っていうのは88.42って評価してたんだけど、
1:43:58	何か一部の資料に、
1:44:00	誤りがあってそれを収集したのが、43から4になったと。
1:44:08	そういった方がちょっとこの、
1:44:10	資料から、この表から読み取りづらくてですね。
1:44:14	なんて言う資料にもともと書い
1:44:17	んなんていう資料の記載が、
1:44:20	変わったのかっていうのが、これがエビデンス資料っていうのと対応しているっていうふうに思ってよろしいですかちょっとそこの。
1:44:28	エビデンス資料って書いてある、この
1:44:31	欄と変更のところの関係みたいところが、教えていただきたいんです。
1:44:53	あ、カイダです。
1:44:56	例えばですね
1:45:02	これ、後程、
1:45:06	確認しようと思ったんですけど、
1:45:10	こういった質問をさせていただいた趣旨っていうのは、あれなんですけど9番34ページ35ページを、
1:45:19	いただくと。
1:45:24	うーん。9番で、変更前、変更後っていうのがあります。これはちょっと上が、
1:45:31	何だ、性状一覧表。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:34	下は何かまたちょっと別の、
1:45:37	資料。
1:45:38	今回、わざわざ作られたのかもしくは何かの抜粋か。
1:45:43	ちょっとその辺りは、また教えていただきたいんですが、大体どれもこれもですね、変更前、変更後、
1:45:50	ていうのが、うん。
1:45:52	大分違うもの同士で変わりましたっていうのは、
1:45:58	49 番、例えば、
1:46:00	58 ページ、59 ページと、
1:46:04	変更前、変更後っていうのはちょっと、
1:46:08	全く違うような、
1:46:10	資料になってまして、
1:46:12	どの資料のどの部分が今回変わりましたっていうのが、この資料から、なかなか、
1:46:22	読み取りづらくなって、
1:46:23	変更の前の、
1:46:26	例えば今開いてる 50、
1:46:29	8 ページの、
1:46:30	この性状一覧表の 90、
1:46:33	書いてある赤枠の部分が、
1:46:35	今、
1:46:37	どうなってるのかとか、
1:46:38	そのあたりがこう見ててわからないんですけど。
1:46:42	この辺り、エビデンス資料っていうのと、変更になった資料との関係等について、ちょっと教えていただきたいんですけども。
1:46:50	現在のカミヤですけど、この後、担当の方から補足を、があればしてほしいですけども。
1:46:58	まずですね、変更前、これは藤デッキ変更前とか修正前もですね、これ表で言うと、
1:47:10	誤った
1:47:11	記載の資料、これ基本的に 833 回の
1:47:16	机上配付資料の正常値アンケート派遣、
1:47:20	観察結果、概ねこの二つになるんですけども、
1:47:25	これをつけてます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:28	で、変更。
1:47:30	それから、副次的変更後、
1:47:34	これをですね、エビデンス資料というふうに呼んでるんですけども、これは
1:47:40	11月の面談とかでやりとりしていただいてつまり、表では、変更修正の内容ってということで、前後って書いてある欄があるじゃないですか。
1:47:53	これの集世古、変更後のエビデンスとなるものをつけてます。
1:47:59	それは
1:48:01	元となるDたに相当するものをつけてます。
1:48:06	というたてつけになります。
1:48:08	それはだから、性状一覧表の変更なんだけど性状一覧表を、そのものをつけてはいないという、
1:48:15	ことにはなりません。裏返して言いますとですね。
1:48:18	それはエビデンスをつけるというような流れで確認をできていきますので、
1:48:25	今回はそれに加えて補足の説明資料をさらに後ろにつけていると、そういう関係仕立てにさせていただきます。
1:48:37	はい。わかりました。だから
1:48:42	資料の変更、変更になった資料。
1:48:47	エビデンス公開ビジネス元となるデータエビデンス、
1:48:52	もう、
1:48:53	変更後についてるエビデンスっていう元となるデータっていうのは、
1:48:57	それに該当する相当するものが変更前には、
1:49:01	なかったということ。うん。
1:49:05	原電の神谷ですけども。
1:49:07	薄片観察結果の資料はほぼ同じようなものがありました。
1:49:12	ですけども、基本となる最新活動面であるとか条線とかっていうものの、
1:49:18	資料はですね。
1:49:20	同じような形では、
1:49:23	何かありませんでした。それはちょっと説明の中で少し触れます触れましたけども、
1:49:29	これが従前の、我々の要求とか、そういうものが不十分だったので、それに相当するものが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:38	なかったので、確認できなかったとかっていう説明を少ししたところあります。ありましたけども、そういう事情になります。
1:49:46	これは今回のプロセスで、
1:49:48	元となるデータに相当するもの、つまり観察結果と写真とかが照らし合わせてきちんとレイズできるようなものとしてですね、作り直した、
1:49:58	が今回はありますのでそれを変更後につけているということになります。
1:50:07	規制庁カイダですか。はい。
1:50:10	状況はわかりました。
1:50:14	ただ
1:50:15	大体前後表みたいな部分を見ると
1:50:20	ここがこう変わったんだっていうのが対応できるようなものがあるって、
1:50:25	それをなぜそう変えたかっていうエビデンスっていうのがここについてくるという方が、わかりやすいかなと思って今、お話を聞いてて思ったんですけれども。
1:50:36	例えばその性状一覧表変更前に書いてあるのが、成長一覧表であれば、
1:50:42	今現状側溝の、例えば、
1:50:46	何センチって書いてある7センチに変わってます。
1:50:49	その心は、
1:50:51	元となるデータ、エビデンスとしてこういうことから、こういうふうに変ったんですか、ですというような、
1:50:58	資料の体裁に、
1:51:01	した方がわかりやすいかなというふうに思って今ちょっと、
1:51:05	確認をさせていただいたんですけれども、これ性状一覧表自体も現状変わってるという。
1:51:13	反映として変わっているということなんですか。
1:51:17	はい、原燃の神谷です。変わってございます。
1:51:20	それは不適合管理の最後のコメント6でご説明しましたけども、
1:51:26	K断層の連続性評価という、一色一色の資料としてですね、性状一覧表なりは、修正は、
1:51:36	済んでいます。
1:51:40	それは、
1:51:41	ですから完了してないみたいな話に繋がるんですけどK断層の連続性評価という申請

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:49	資料一式で今、提出する。
1:51:51	局面ではない、ないのでそれは出して、
1:51:56	おりません。
1:51:58	社内的にはそれは作成済みです。それで検査を受検いたしましたので、はい。
1:52:05	状況はそういう状況です。
1:52:08	カイダです。そうした場合、もしそれをつければいいかっていうと、
1:52:15	例えば、
1:52:17	最新活動面の深度とかっていうのは、
1:52:21	この性状一覧表には、
1:52:24	ちょっと見当たらず、旭田井の範囲とか、
1:52:29	走向傾斜、
1:52:32	んですけれども、
1:52:35	最新活動面の頻度が変わったようなものっていうのは、
1:52:41	じゃない。
1:52:43	あとは、
1:52:45	変更前の資料っていうのは、
1:52:48	うん。
1:52:50	最新活動が変わったっていうのは、
1:52:55	例えば 65%の
1:53:05	変更前は、
1:53:08	これはだからあれなんですね。
1:53:11	性状一覧表じゃない、別の、78 ページ。
1:53:18	これは性状一覧表にはこの数字が出てこないからこれがついてるっていう。
1:53:25	となるでしょうかね。
1:53:28	全部が全部性状一覧表で、変更前変更後をそろえるということは、
1:53:33	こういった、そこの表に入っていないような情報もあるのでそれは難しいということなんですかね。
1:53:48	減税のカニワです。江藤。
1:53:50	そうですね 833 回の時の性状一覧表の中で、
1:53:56	最新活動面についてはこのコア写真上に赤い矢印で示してはいるんですけど、数 g で、深度何メートルっていうふうな形では記載しておりませんでしたので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:09	中には、
1:54:10	カタクレーサイトと評価してる部分は 833 回のときは、コア写真上矢印を置かないっていうような、
1:54:20	整理をしておりましたので、ちょっと、65 番のように、性状一覧表だけ、この前後を比べるっていうのが難しいっていう箇所はあります。
1:54:40	規制庁の増子。
1:54:42	ちょっと今の開発のやりとりで、
1:54:46	というか、
1:54:48	少なくとも私がイメージしてたのは例えば、先ほどどこでしたっけ 34 ページでしたっけ。
1:54:55	ナンバー 9 の 3 層下部の方。
1:54:58	34 ページは変更があってこれが 833 回の会合資料で、35 ページが、今、神谷さんからご説明あった通り、変更後であり、かつ、これがあと元となるデータのエビデンスというお話だったと思うんですけど、
1:55:13	まずその
1:55:14	変更前と変更後新旧関係っていうことで言うと、この変更、今 35 ページにきてるものは、
1:55:23	これは、
1:55:24	833 回の、
1:55:28	新旧では対応してないんですよ。
1:55:32	私は何かその 833 からこうでした。
1:55:35	34 名、35 ページ、833 回はこうだったんだけど、性状一覧表の、今、センチのところは 3.5 センチになります。
1:55:44	で、今 35 ページであるものは、以前資料として、わかんないけど 36 ページのことがあって、私なんかこういう構成はなんじゃないかなと思ってですね。なぜかという、
1:55:56	いずれにしてもこの 34 ページ 833 からこの性状一覧表っていうのは、いずれはあれですよ。今回のこの
1:56:06	データの修正を踏まえて、そういったものが反映された部分が出てくるわけ。
1:56:11	ここは、
1:56:13	出ますよね。うん。
1:56:16	個別に、そ

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:18	そういう、いやさっきの完結性、／secとリティさんと私はパーフェクトにならちゃんとこの
1:56:25	性状一覧表であれば性状一覧表の新旧あり、エビデンス補足説明というこういうパッケージを想定したんですね、これ別にこれだけじゃない。
1:56:36	うん。ただちょっとこれを今、
1:56:40	他の審査会合運営って言うてもしょうがない。少なくとも、私はそういうイメージだったんですけど。
1:56:46	そんな感じですよ。岡谷さん、どうぞ。
1:56:49	そうです。会田です。私も先ほど申し上げたんですけど新旧関係がわかりやすいような、ここはこう変わったんだっていうのは、これわかってる人じゃないとなかなか、
1:57:02	先ほどちょっと神谷さんおっしゃったように薄片の
1:57:06	手話とか全国がすごい対応してるんですけど、
1:57:10	他のところはちょっとわかりづらいので、ここは何とか工夫できないかなと思ってちょっと、ちょっとそこで作った観点で確認させていただいたんですけどもちょっと今話聞く限り、
1:57:23	ここ一、二日で何とかなるんじゃないかなというふうな感想はちょっと。
1:57:30	なんで、大好きなオンラインで、
1:57:34	我々はそういうことをコメント回答として、
1:57:37	資料に反映されてるのかなと思って、
1:57:40	いたところをお伝えしたんで、ちょっと御社は、
1:57:44	それについてどうお考えになってますか。
1:57:49	原電の神谷ですけども、ちょっとそこ、もしかしたら11月以降の、
1:57:57	我々の理解が不足していたのかもしれませんが1099回ですね、
1:58:03	資料1-4でご説明させていただいたときの4-3ページにですね、今示されてます。
1:58:11	1099回の時の資料、資料3ページ、今日の資料じゃないですけど1099回の
1:58:20	資料1-4ですね、の4-3ページ。
1:58:28	前回ですか。
1:58:34	4-3ページ。
1:59:10	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:59:11	はい。そこに冒頭4行書いてあるんですけども、その3行目からですかね。
1:59:19	各データの元となるデータ、エビデンスは、一覧表のエビデンス資料欄に記載の資料に示しということで、それを
1:59:28	添付します。
1:59:30	いうふうに、
1:59:31	していたんですね。だから地元は性状一覧表だからといって成長一覧表の修正した後をつけるわけじゃなくて、
1:59:39	その辺、修正した何かエビデンスとしてこうつけますし、つけますというふうにしていました。これはちょっと過去の経緯もありまして、ちょっとここ、誰かが865回、
1:59:52	833回の後囊と865回だったかな、データが変更になったら、
1:59:59	その変更、単に性状一覧表でこう変わりましたっていうところの枠だけつけるんじゃないくて、変更になったそのエビデンスというものもあわせて示してくださいと。
2:00:09	いや、
2:00:10	コメントをですね審査会合でも、
2:00:13	いただいて、
2:00:14	いましたので、そういう流れの中ですね、プロセス自体も、今回こういう元となるデータよというふうに作りましたので、そういうものを変更後の、
2:00:26	エビデンスということで、つけて、
2:00:29	したという経緯でございます。
2:00:32	性状一覧表とかそのものをつけていなかったのは、
2:00:38	何かK断層の連続性評価という資料を作ったもののうちの本編資料とかの中にそういうものは入れて作ってはあるんですけど、
2:00:46	そういうものを入れてない。
2:00:49	だけといえばだけなんですけど、
2:00:52	それは
2:00:57	質問ですけど、一応誤解は気をお伝えしますが、私は別にエビデンス資料否定してるわけじゃないですよ。
2:01:06	だから別に、
2:01:09	例えば、7、70、今日の資料の78ページ、79ページ、さっきの最新活動面の深度の話。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:16	これは別に、79 ページがあっというんではないですか。
2:01:21	うん。
2:01:23	ただ、78 ページ、833 回から、
2:01:28	変更は、
2:01:29	進路が変更になった変更後ってというのは、
2:01:35	79 ページの今のこのピット、この資料ではないですかっていうことを、
2:01:42	確認したんですけど、あれですか、4-3 ページの、
2:01:46	ここに引っ張られてるってということですか。
2:01:52	そうすると我々は、この、例えば 78 ページの最新活動面の深度が変更になったものってというのは、
2:02:03	どういうタイミングでどういう形で、
2:02:09	んですか。
2:02:11	ここではなくて、
2:02:14	どういうその資料構成の中で、いやその、例えば、わかんないけど、K 断層の連続性の評価の中で、あれですか、もう本床、
2:02:24	これだと、すみません。7 ページ、机上配付資料ですけど、机上配付資料の中でも、その変更後だけが入ってくるって、そういうことなんですか、ちょっと。
2:02:35	この辺を、先のことまで、御社はどう考えられて、今のこの 4-3 ページの話をされてるか確認させてもらっていいですか。
2:02:48	はい、原電の神谷ですけれども、K 断層の連続性資料をお出しをしていないので、ちょっと空中戦になってしまうかもしれませんけども、
2:02:58	検査のときにはそれは
2:03:01	チェックしてですね 1011 万は、今日なんかも確認をしていただいたんですけども、
2:03:07	端的に言うと運転の年、論点の審査会合のときにはその成長一覧表の形にしてももちろんお出しすることになります。
2:03:18	性状一覧表の立て付けをですね、833 回の時とは、
2:03:24	少しその並び方というんですかそういうところも、
2:03:27	変更をしておりますので、
2:03:33	何ていうんですか従来はその破碎オリエンテッドってこれだーっと並んでたんですけど、今 K 断層の連続性評価ってのはボーリング孔ごとみたいな性状一覧表で、社内的には作っています。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:46	だから、
2:03:48	変化を、
2:03:50	つけることはもちろん、
2:03:52	時間をかければ可能なんですけども、
2:03:55	大分その見栄えというか立て付け情報自体は、正しいものに、
2:04:01	入れて出す、作っているわけですけど、結構、
2:04:08	同じもので直したようなフォーマットになっているものでも必ずしもないというところがあります。
2:04:17	ちょっと空中戦かもしれません。はい。
2:04:24	はい。例えば今出てる 7879 で、
2:04:29	78 に相当するようなものっていうのは今回はもう、
2:04:33	新しいこの 60.5859 に変わった資料っていうのは、
2:04:39	何かもうないってことなんですか例えば、
2:04:42	60、63 の、
2:04:45	同じようなやつでいうと、変更前、変更、或いはこれ製造一覧に行わず、
2:04:51	出して欲しいっていうわけじゃなくて、前後が分かれば、それが一番いいので、ここだとう。
2:04:57	同じように、角田加瀬の
2:05:00	もともとキャプラーソンって書いてあったのが、正断層変わりました。ここだと、前後がわかりやすいなど。
2:05:09	思って。
2:05:10	7879 ですかね、78 も。
2:05:15	同じものがついてて、何で変わったんだっていうところは、今の 79 ページのエビデンスっていうところを参照すれば、変わったんだというのが、
2:05:25	わかりやすいんですが、要は、前後で同じような書式のものがあるならつけていただいた方がわかりやすいっていうところで、
2:05:36	そういった、この資料を見たときにそういうちょっと、
2:05:40	監査をいただいたというところをお伝えしてるという、
2:05:44	これ、
2:05:45	78 のこの
2:05:48	ようなものっていうのは今回、もう
2:05:50	ない、ないんですか。あんのかないのかっていうところに、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:05:57	うん。
2:05:58	原点のカミヤですけど、薄片観察資料だけは同じようなフォーマットで ありますので、78 に相当する変更後は、
2:06:10	91 ページ。
2:06:12	7、
2:06:15	ね。
2:06:18	うん。
2:06:19	ページが、
2:06:23	あくまで 91 ページは、変位センスということでつけてますので副次的 変更後になってますけども、
2:06:30	91 ページにロック 60.59 というふうに、
2:06:34	箱書きの 1 行目。
2:06:37	入ってますので、これらの相当するものになります。
2:06:44	カイダさんわかります。確かにそうです。
2:06:48	だから、エビデンスとして使ってるかちょっとは、
2:06:53	副次的変更。
2:06:56	ですけども、
2:06:58	これ、
2:06:59	60
2:07:01	5 番の冒頭でこういったのがあるとわかりやすいかなと。
2:07:08	わかります。今の資料構成じゃ、こういうふうになってる。
2:07:12	ということで、資料に対応する前後で、
2:07:19	あーあ、
2:07:20	次は、
2:07:23	はい。
2:07:24	確認を踏まえて、
2:07:28	うちの中でも、
2:07:31	思いますけど、
2:07:34	効果云々じゃなくて、その先を見据えてって、この中でも、
2:07:39	はい。
2:07:42	ごめんなさい。私は少なくとも、
2:07:44	資料という意味でもエビデンスという意味でも、前後っていうのはある のが、
2:07:51	それで少し、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:07:54	ありましたけど、営業時間が
2:07:58	様式がちょっと変わってますのは、すみません、ちょっと我々見てないんで何とも。
2:08:04	話なんかで議論して、それでもやっぱり、
2:08:09	返還さっき言うたら、
2:08:13	通常プラントだったら、まあ、そうしてもらっても、それに対応するものが欲しいという、
2:08:20	ある。
2:08:21	かもしれないかもしれないけど、私は、少なくとも私は、
2:08:27	量的にも、
2:08:32	わかりました。ありがとうございます。すいません現在紙ですけど、
2:08:37	ちょっと今頃は、
2:08:40	混乱してるんですけど、いずれの性状一覧表はですね、我々もエビデンスと呼ばないことにしてますので、
2:08:48	ですから従前は成長一覧表みたいなものにしかデータが書き込まれていなかったんで、これも検査の時もですね、それで結構やりとりをさせていただいたんですけども、そこに数字が書いてあるとか、条線の動きとか書いてあるだけそれは、
2:09:06	二次資料でしょと。
2:09:09	というようなことを踏まえて、今回プロセスも再構築して、今回お示ししているエビデンス資料、これはまさに観察結果に相当するもの。
2:09:19	いう形。
2:09:20	出してますので、
2:09:22	もちろん修正、変更後の成長一覧表をつけることは物理的には可能なんですけども、それを我々は今、何かエビデンスっていう呼び方はもう、社内的にはしないような、
2:09:36	お願いをしておりますので、ちょっとその辺でちょっと資料町の、
2:09:41	作りがですね、引きずられてるところはあろうかなと思ってます。
2:09:51	なんかステータスを合わせるっていう、
2:09:54	ていうかな。
2:10:08	うん。そうですね。
2:10:15	ここ、
2:10:20	しますし、ちょっと

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:10:22	本社を弁護するわけじゃないんですけど、一応そういう考え方で今の資料は作られてるっていうのは、議論する時に、
2:10:38	すいません。
2:10:41	ちょっと今の点は状況はわかりましたし、今、野田の方から申し上げたように、
2:10:48	こちらでも今の状況、
2:10:51	どういったコンセプトなのかっていうのは、
2:10:54	考えた上でまた検討します。
2:10:58	それとあと、これはちょっと体裁。
2:11:01	的なところになるのかもしれないんですけども、
2:11:05	全部同じなんですけど、例えば 3435、30、
2:11:12	6 のセット。
2:11:14	で、今、
2:11:15	変更前、変更後でそのあとに、補足説明ということでもう少し、
2:11:21	あるんですけど、
2:11:25	パッと見た時
2:11:26	香港前に、本校がいきなり出てくるよりも、
2:11:30	この補足説明的な、
2:11:32	こういったことで、この部分についてはこういうふうに、
2:11:36	変えました。
2:11:40	どういうことかっていうと、変更前の工事。
2:11:43	変更後はこうですっていう、
2:11:45	並びの方が、
2:11:47	こちらは見てる方、理解しやすいかなと思ったんですけども結論が最後に出てくるような、今並びになってるんですけど、冒頭にこういった補足説明的な、
2:11:59	ページが変更前、あとしていう方が、
2:12:04	わかりやすいかなと思いつつ、どっちがいいかなというふうに、
2:12:08	考えながら見てたんですけど、今、
2:12:11	何か理由があるんですかね、補足説明は最後にあるっていうのは何か。
2:12:17	こだわりとか、結構理由があつて、こういうふうになったとかちょっとこの構成、今、
2:12:24	何とかコンセプトとか、
2:12:28	ちょっと確認したいと思うんですけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:12:31	はい。
2:12:35	現在のカミヤですけれども、
2:12:39	1099 回の前回の審査会合のときの資料はですね、
2:12:45	変更前からついてなかったところが結構ありましたので、点、変更ここだけがエビデンス資料としてついていたと。
2:12:54	いうところに、まず変更前を見つけましたと。それで、変更は変更。
2:13:01	で、その補足説明資料をその後ろにつけるという
2:13:07	考え方。
2:13:10	はい。
2:13:13	赤井です。わかりました。
2:13:15	であればこちらもう見やすさっていう観点からすれば、何かそのページの組みかえ
2:13:23	補足説明っていう、最初に補足っていう言葉になるとまた、
2:13:28	この文言あるかと思うんですけども、
2:13:31	何かこう、
2:13:33	それはここ、今回 1 で、
2:13:36	方向、
2:13:38	天井組み替えられるのであれば、
2:13:43	出していただいた方がわかりやすいと思うんですけど。
2:13:47	ちょっと全体をしっかりと見てないんですけど、単純にそう組み替えられるようなもんでもなくて、
2:13:54	いろいろまたそこで不具合の標準、
2:13:57	後であればそこは、
2:14:00	その辺の組みかえってというのは、
2:14:03	どうですかね。
2:14:06	前の県の神谷ですけども、ご指摘の趣旨は、
2:14:11	理解をしました。
2:14:13	ただですね、今はまだ、ですから 34 ページからこの例で言いますとまず 34 ページの一番、
2:14:22	上の箱書きにですね。
2:14:25	断層ガウジ岩相確認の幅は施錠一覧表に 1.0 センチと記載していたというここからがストーリー

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:14:34	の始まりとして書いて、それが 35 ページの変更で、元となるデータとしてこういうふうに変わりますというふうに書いて、それで、36 ページの補足説明
2:14:46	に繋がっていますので、
2:14:55	ちょっと内販なそのまま入れ替えだけ。
2:15:02	我々は入れ替えでいいと思ってるんですけど、でも、
2:15:11	我々、御社の中でそれでいいかっていう問題もあると思う。
2:15:19	岡山。
2:15:21	昔は最後はいいです。
2:15:23	そう。
2:15:26	それで何か、
2:15:31	わからない。
2:15:32	今、ストーリーが崩れてしまって、資料の構成として、
2:15:36	何か、
2:15:37	流れが悪くなったり、
2:15:39	また、
2:15:48	問題。
2:15:51	非常にあんまりないんで、
2:15:58	ただ、今言ったのは、
2:16:02	私、
2:16:07	補足説明があって、
2:16:17	まあ、
2:16:18	多分中で、
2:16:25	ああ。
2:16:25	とりあえず、
2:16:26	僕もいいですか。
2:16:28	そう。
2:16:32	ちょっとある。我々はそんなふうに考えて、
2:16:35	いうことを事前にお伝えした。
2:16:39	うん。
2:16:44	すいません、条例で法律家、
2:16:49	表現のホリエです。今のお話は、ちょっと補足説明されたところで別にして最初に一斉に適正した、してたものを査定を精緻に変えますよってという説明があってから、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:17:01	変更前はこんなこと思ってまし変更が載ってましたっていう、
2:17:06	流れの方の、
2:17:07	わかりやすいんじゃないかなというご指摘だと思うんです。
2:17:12	その通りです。もう、具体的に言えば、この 343536 の構成で言えば、36 が元にあって、
2:17:21	次。
2:17:22	変更前 34、変更後、35 っていう、こういう構成ですね、発足し、変更前、変更後っていう方が、少なくとも、
2:17:32	介護、
2:17:34	じゃなくて、うちのグループの中では、そういう方が、
2:17:39	費用全体として、
2:17:42	三上。
2:17:43	安井なあ。
2:17:44	そういう観点でちょっとお伝え。
2:17:47	次第です。はい。
2:17:51	カイダです補足しますと
2:17:54	私も今のまさにその通りで、おそらく 30、
2:17:59	30 ページ 31 ページ。
2:18:01	この表がもうすでに前提としてこれ頭に入ってる前提でいけば、今の構成で、多分、変更前、変更後で補足でわかりやすいと思うんですけども、
2:18:13	ちょっとこの辺を全部頭に入れた上でこの後ろの方に行ってるかっていうと、
2:18:18	なかなか
2:18:19	難しいので、後ろの方の、
2:18:21	説明でも、
2:18:23	全体の説明があった上で、変更が変更後っていうのがわかりやすいというようなそういった趣旨で、ほぼ同じことだと思うんですけど、そういったふうにちょっと、
2:18:33	みて思った、碓井板井。
2:18:46	はい。で、会社です。うん。ちょっと今お聞きした感じだと、
2:18:52	ちょっと単純に入れ替え、
2:18:54	では済まないかもしれないということ。
2:18:57	ということなので、ちょっとそこは

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:19:02	さっき、
2:19:03	ちょっとそれを、
2:19:05	今回見るのはちょっと難しいんじゃないかなってところ。
2:19:09	承知しました。憶測はちょっと無理じゃないんでってことで、
2:19:16	こういったふうに思ってるってことをお伝えした次第ですので、この点は、
2:19:22	そういった、
2:19:24	そんなことをお伝えしておくってところ。
2:19:27	まとめただけだと思います。
2:19:29	すいません現在の齋藤でございます。今の今のやりとりを聞いておまして、今村さんカイダさんのおっしゃってることも私はよく理解しますし、
2:19:39	そのまま主要構成としてもわかりやすいであろうと、わかりやすいってことは、原点にとっても大事なことですし、あと審査される或いは、YouTubeでキタガワれても大事なことなので、
2:19:51	そこはやっぱり我々の方もですね、持ち帰って、しっかりと検討させていただきたいと思います。それで、やっぱり我々聞いているのは純売で変えるだけで、
2:20:04	OKってというのが我々はやっぱり社内的には、編集長それはできないので、それが本当に問題ないかという確認も含めて、時間が十分かっていうところがちょっと気になっておりますので、
2:20:14	その辺で、社内をよくちょっと議論した上でですね、どうするかというのは、判断したいと思ってます。
2:20:23	はい。以上です。
2:20:26	カイダです。わかりました
2:20:29	そういった形で検討していただいて可能であればというところで申し上げたいと思いますので、よろしくお願いします。
2:20:43	反対をおっしゃってるんですけども、
2:20:53	よろしいですか。
2:20:54	実はもう、
2:20:58	65
2:21:01	私の方からちょっと技術的な面で、ちょっと確認させていただきたいことが、
2:21:10	それで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:21:11	今回、
2:21:14	ヒアリングでちょっと修正するのは難しいかもしれない。
2:21:19	審査会后、内容によってはちょっと、
2:21:22	高井小
2:21:24	を受けて、それ以降は、
2:21:26	直す、検討していただくということになるかと思います。
2:21:31	ですね、最初、ちょっと気になったのがですね、
2:21:42	はい。
2:21:43	エクスネットの
2:21:46	名前、
2:21:47	派遣ですね、それを確認した上、
2:21:51	正しいことを確認するという事なんですけども、
2:21:54	この写真、
2:21:57	この真ん中にある手前のZ方向がですね、これ左の方向にきます。
2:22:03	一方これ薄片の右側の発言の、
2:22:07	絶対言ってるんで、
2:22:10	これ、と一致してないんじゃないですか。
2:22:19	元のイガラシです。ここ、こちらの資料をちょっと例で出してるところはわかりにくいんですけど、
2:22:25	あきまへんのZが見えてるこの方向をはっきりしていこう、裏返してるので、Z方向自体は合っています。
2:22:37	テンマ返納の左側がZ方向で、最新面としてる位置が、真ん中より若干身寄りの、
2:22:45	ところに、
2:22:46	荒れてると思うんですけど、
2:22:48	ここの面から、発見を切り出して、ガラスの上に載せているんですけども、載せる時に、
2:22:56	この新城さんは、折り返しこういう掘り返してるので、いやそ例はあるように書いてない。これみたいと全然わかんないです。方向自体はあの場所になるんですけどちょっと、
2:23:10	そうなりますね。はい。
2:23:17	もう、
2:23:18	そうですね、この方向性なんですよね。例えばですね。
2:23:29	20、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:23:31	40 とか 40 名。
2:23:34	この上の、
2:23:36	派遣のチェックを、
2:23:40	安定しています。
2:23:41	無かった、これは Z 方向が、
2:23:46	間違ってたんですね。
2:23:49	反転した。
2:23:52	ことなんですけども、これどっちが
2:23:55	2 人としてあるものなのかっていうのはわからない。
2:23:59	あと、
2:24:02	その他の薄片ですね、これ最後に反転したり、
2:24:06	上下反転したり何かいろいろやってるんですけど、
2:24:10	各って表と裏が先ほどご説明し、
2:24:15	した通りだと思うんですけども、
2:24:17	通常は表の写真だけですね。
2:24:20	これを、
2:24:22	そのとった時のオリジナルの写真が、どっちなのかっていうのはわからない。
2:24:28	はい。
2:24:29	お礼と説明なしでやられちゃうと、何とでもなっちゃうんですね、温度センス。
2:24:37	逆断層は正断層ですし、2 行ぐらいのものに対する、
2:24:41	ぐちゃ、
2:24:43	オリジナルの宮も、
2:24:45	どういう観点したのか。
2:24:47	ということがある、ちゃんと示してもらわないと。
2:24:51	この論文とか、こういうのって、
2:24:55	改ざんとか言われることもあるんで、
2:24:58	気をつけるか。
2:25:04	あと現在、ただしですと、全資料この説明資料の、当資料作成の構成要素の、
2:25:12	2 部、
2:25:13	この中にこの眼鏡枠とか、その模式図があると思うんですけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:25:18	薄片で、断層をどちらから見てどっち方向に建て替えるところがどっちに動いてるかをわかりやすく表現するために、
2:25:28	これは、写真の向きとかこう案件して、資料を作成してるんですけども、
2:25:33	確かあの監査する博士自体はその表の面、
2:25:37	この資料が水に乗ってる面、
2:25:40	観察してるので、
2:25:42	すぐにその確認はできないですけど、
2:25:45	オリジナルの面と言われたガラスに乗ってる方が、閉じてどっちかっていうのは、しっかり確認しておきます。
2:25:53	ある方はよろしくお願ひし、
2:26:08	53 ページの、
2:26:13	これナンバー48 ですね。
2:26:17	これはもう、
2:26:19	求めたい、その最新面の方向がわからないんで、
2:26:23	モールテレビ株が、
2:26:25	と照合できる、断層面の方向を利用して、
2:26:30	最新の方法を求めたというものだと思うんですね。
2:26:35	技術的にはもちろんこれ変わるものだと思うんですけども、この説明がですね、
2:26:41	本当にこれで、
2:26:42	でき、いや、もうこれ、
2:26:45	見かけの傾斜っていうのは、もうどういうふうに、
2:26:49	こんなこと言ってるんですか、この写真写真そのものでこれ。
2:26:54	株が上がったんですか。
2:27:08	ない話です。見かけの傾斜っていうのはコア項目に収まっている。
2:27:14	コア。
2:27:15	うん。認められた面の角度から測ってます。
2:27:22	そうは言っても今後、グルグルまわしていくとか、見かけの傾斜って変わっていくでしょう。
2:27:37	まああのね
2:27:40	あと
2:27:41	かなりこれやってることは、
2:27:45	そんな単純なことじゃないんですかね。あと次のページで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:27:50	傾斜は 20、
2:27:54	23 度、
2:27:57	こう変えたって言ってる、こんな経営者だけ書いてるような書きっぷり なんですけども、一方でこれ、層厚も変わってますよね。
2:28:07	実際、多分、
2:28:10	お互いの断層が斜交してるんで、層厚も変わってくるんだと思うんです けども、
2:28:16	こんな見かけの傾斜だけをプロットしただけじゃ出てこないはずですよ。
2:28:31	ただしですね、富川県、コア、回ってるので、
2:28:36	見かけの傾斜が、
2:28:39	単純にコアからわからないっていうのは
2:28:42	引き上げた。
2:28:44	ものが違う場合はそうなんですけどもこの場合は、ここは同じ。
2:28:48	はい。引き上げた中での、
2:28:51	3 日の傾斜なので、
2:28:55	竹野最大傾斜のことっていうのは、
2:29:00	掛けろっていうのはよくないかな。
2:29:04	3 倍の傾斜角のことを言ってる。
2:29:09	1 年で引き上げた範囲内での、わかってる。
2:29:15	走向傾斜が取れてるはとすると、
2:29:17	最新面としてるところの、最大傾斜の差を、まずは求めています。で、傾 斜角のさ、その差をまわして、走向も変わっている。
2:29:29	とお話だったんですけども、この
2:29:32	27-2 の 1 項斜めボーリング
2:29:35	なので、
2:29:38	このポリウムの方の軸に沿ってとらえて、ちょっと妻はそうすると、 辛い木曾、
2:29:45	そこのところもちょっと使っていくので、
2:29:49	回すのは、工場で、
2:29:52	一番変わってるコアでの最大傾斜角の差を回すんですけども、
2:29:57	動かす面としては、
2:29:59	倉庫も一緒に釣られて、
2:30:02	変わっていくと。
2:30:03	いう部分になります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:30:05	だから、そのプロセスがですね、この 50
2:30:10	4 ページ。
2:30:11	もう捨てるネットの
2:30:14	だけだとわからないんで、
2:30:16	それがわかるように、
2:30:18	どういう方向に先ほどボーリングの掘削方向に回転したところですね。
2:30:24	層厚そういうのがわかるように、
2:30:27	示していただく必要があります。
2:30:30	これはちょっと、
2:30:31	何か事態まで見たら難しい方、よく考えて専門家の間が検討してもらってですね、この辺のプロセスもやっぱりは、
2:30:40	目安として示してですね。
2:30:46	遊び資料に反映できる、できない部分あると思うんですけど説明のところでできる限りわかりやすいように、
2:30:53	説明したいと思います。以上です。
2:30:55	これ、59 ページ、関連して、
2:31:00	これは方も何かよくわからない。
2:31:03	当然、これ、至るところで出てくるんですけども、
2:31:09	あっこ、
2:31:13	まず、条線観察してるチップが真ん中にあります。
2:31:17	これは、断層の上盤側を観察したもの、資料なんですか。
2:31:24	現場の話ですこちらは、下盤側から観察、
2:31:30	下盤側から高。
2:31:31	元校長とは言え、
2:31:33	サーバー側からっていいいます下盤側から上盤側見ていくということ。
2:31:40	ということは、この資料が坂側の資料、
2:31:43	なんですよ。
2:31:51	監査通は下盤側から見てるんですけども、それを上盤側条線方向はその上盤側から見た。
2:32:00	タナカの方。
2:32:02	表現するので、そうなるように、
2:32:06	写真を反転して表現。
2:32:09	写真も安定してる。
2:32:11	これオリジナルのものじゃないですか、オリジナルのキャパのそ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:32:15	次の次のページ、61 ページ。
2:32:20	お願いします。
2:32:24	評価するところ。
2:32:26	そうですねこの右下の黄色い四角。
2:32:32	あと、その上の条線観察1というところの、
2:32:35	県民加工ペロッと離れたような写真があると思うんですけども、これがオリジナルの、
2:32:40	方向、
2:32:41	資料抜きで、これを見ている面が、断層の下盤側から富田ものになります。
2:32:50	計測自体は下盤を見てるんですけども条線方向を、上盤側から、
2:32:56	イトウ方向、
2:32:59	1000、
2:33:01	間瀬の方甲状腺とかわかりやすいように、
2:33:05	60、60 ページ、59 ページの資料では、
2:33:09	部長そちらに、
2:33:12	この
2:33:14	条線の方法は、
2:33:18	88、
2:33:21	70、88。
2:33:25	Rハードって感じ方をしてますよね。上がるっていうのは、
2:33:31	上盤側から下盤側を見て、2位と、右側に落ちてると。
2:33:37	ということですよね。
2:33:38	けどもこれで、
2:33:41	レフト左側に、
2:33:44	落ちてるじゃないですか。長千賀。
2:33:48	L、Lの方。
2:33:53	左側の図のは、これどういう、
2:33:57	ことなんです。
2:33:58	は、
2:33:59	観察した面。
2:34:01	下盤側から見てるので、
2:34:04	もうこれ、今、示してると言って、
2:34:08	下盤側。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:34:09	北播の
2:34:11	スケッチですかね。
2:34:13	下のスケッチを、その内下から見てる。
2:34:17	そうなんですかね。はい。
2:34:19	もう理解不能なんですけども。
2:34:27	本当は、下坂断層のこの下盤側から見て、そちらに傷がありましたっていう。
2:34:34	条線方向としては側から見たら、その反対側からこう見ることになるので、
2:34:41	この次は、上は参加した場合、見てるんでしょ。
2:34:48	この図は、下盤側から上盤側を見て、
2:34:56	下盤側から上盤側を見てる。
2:35:00	ルーズになります。
2:35:16	観察自体を、下盤側から、その間、
2:35:20	この図がちょっとわかりづらくて、
2:35:22	断層面があって、そのコアが下において、
2:35:26	すいません。
2:35:27	それならそういうふうな、普通にしてもらいたいですよね
2:35:31	断層面があって、コアだ。
2:35:33	馬場だったら、上に乗っていったるわけですよね。
2:35:37	もう1個、
2:35:41	この写真との対応関係が、
2:35:44	ちゃんとわかるように、
2:35:45	計算してる方向が逆じゃないですか。
2:35:53	ここは、この真ん中の条線の、これ、
2:36:02	反転したりして、スケッチとか何か、
2:36:06	その何ていうかな。
2:36:08	してない。
2:36:11	そういうところは、左側の模式図、観察の資金っていうのは、
2:36:16	この両者を観察した面は、下盤側から見てるので、この左側の図は、下盤側から見た。
2:36:25	スケッチ図と模式図で表してますんで、条線方向を上盤側から下盤側を見た方向で表現する。
2:36:35	ために、この赤枠の写真のこの緑の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:36:39	3は、
2:36:40	乾燥自体を下から上を見てやってたって、これを反転して表現している ので、
2:36:47	この図の赤線と赤枠の緑の線が、
2:36:52	報告役になっているという、
2:36:54	表現になってるんでちょっとそこが、
2:36:56	この資料だけだと。
2:36:59	その対応関係はよくあって、そのスピード自体も、もっとわかりやすい よ。
2:37:05	作成、わかりやすい。
2:37:07	これだとちょっとばかり。
2:37:11	もうちょっとわかりづらいかな。
2:37:18	それをまわしてまわして改善させて、2番の後半の資料のように書いて もらいたい。
2:37:29	江藤河津の式辞と、実際の調査報告を同じ方法になるように、磯田井対 応関係がわかる。
2:37:37	はい。
2:37:38	と、
2:37:40	本、
2:37:42	層厚の方向ですね。
2:37:45	やっぱ斜めボーリングで思ってるんで、
2:37:48	これ結構、これ層厚の報告を出すのは難しいと思うんです。
2:37:53	これを出すのは、
2:37:55	ボアホールテレビカメラからのデータを持ってきて、
2:38:03	複雑なことをしてんとやらないと。
2:38:07	で出して、
2:38:09	整理してない。
2:38:11	そこのプロセス。
2:38:13	もう示してもらう必要があります。これは本当に、
2:38:16	条線が正しい方向なのかっていうのは、層厚もう正しい方向に、
2:38:25	線が引かれてるのかっていう
2:38:27	こともやっぱり示してもらう必要。
2:38:33	現在の岩橋です。条線を総合傾斜並びながら斜めボーリング等で走向傾 斜で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:38:41	補正を 1 求めているという層厚についてここ、
2:38:44	副次的変更の箇所なので、前のページのところの走向傾斜の話を引き継いで効果をする場所なんですけども、
2:38:55	何で走向傾斜が正しいかどうかというのは、前の、56 ページ。
2:39:01	先ほど、
2:39:02	生駒に説明した部分。
2:39:04	あとこの回転とかがわかりにくいと詰めていただいた部分。
2:39:09	はい。
2:39:09	この資料上は説明をしていると。
2:39:14	計算のあたり前ですけども、そコアですね。
2:39:19	警報を生かす必要がありますよね条線、
2:39:23	その時に、
2:39:25	条線を、方向、怖い断層に聞いてあげないと。
2:39:30	条線なくて層厚の方向。
2:39:34	それをどういうふうにはですか。
2:39:45	はい、久米田の五十嵐です。
2:39:47	この資料面から観察した。
2:39:50	県の方向をもっと、
2:39:53	見られた走向傾斜。
2:39:55	を与えた後に、劣化が何度になるかっていう。
2:39:58	この変換の部分ですね。
2:40:01	いや層厚線の
2:40:05	もう断層面、どういうふうにしていたかと。
2:40:17	いや、時間がないんで、一応、ちょっとわかりましてもらいたいですね、今即答できなければ、ちょっと考えて、
2:40:29	示してください。
2:40:53	6 番。
2:41:09	振動をですね。
2:41:14	変更されたんと 60 点。
2:41:18	うん。59 から、
2:41:21	5 章。
2:41:23	されたということなんですけども、
2:41:25	これなんかは、
2:41:27	ほぼボロボロテレビカメラには、こういう近接した 2 本の線が、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:41:32	本があるんですけどボーリングコアで、
2:41:36	これが
2:41:39	80分。
2:41:41	これ1本しかないですよ。
2:41:45	ある。
2:41:53	はい、乾五十嵐です。
2:41:57	84ページの方は増で、近接2本ある。
2:42:02	方の絵と青い矢印を置いている。
2:42:06	従前提示していた。
2:42:08	インターの走向傾斜と言われている。
2:42:10	方、
2:42:11	の面については、
2:42:15	80ページ、
2:42:17	もうここは写真。
2:42:19	ていうところだと、
2:42:22	真ん中の下の小柴広井県線を、
2:42:25	付け加える写真だと、
2:42:29	この工学の黒い線から大体ちょっと下ぐらい。
2:42:34	のところ、この
2:42:36	サイドにちょっとべとっとした年度と、
2:42:40	砂上のような境界のところ、
2:42:43	ちょうど言うとか項目の拡大っていう大の文字の直上ぐらいに、ちょっと何か、
2:42:51	いろいろとか片づいた面があると思うんですけどもそう。
2:42:55	そのムーンが該当してる説明なんですよあるんですけどしたらやっぱりそれも示してもらわないといけません、このホールと。
2:43:05	対して、ここでしたっていう、
2:43:09	ふうにしてもらう必要がある。
2:43:13	ありました。
2:43:27	とりあえず私からは以上です。
2:43:40	石井友田ですけど、すいません最後、簡単にコメントのナンバー6。
2:43:47	ノセところだけ、すいません、確認させてください。
2:43:52	まず、
2:43:53	藤。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:43:58	前回の会合の議事録。
2:44:00	それを踏まえて確認するんですけど、まず
2:44:03	変更管理については、野瀬さんの方から、最後審査資料を我々に提出することで完了すると言われた、それはそういう理解でいいんですか。
2:44:18	ここは修正なんですね。はい。現状ノセでございます。そうですね 15 ページの、この青字で書いてあるところですね。
2:44:28	あの後、115 ページ、すいません 115 ページのオレンジの H a t c h の中の、
2:44:36	③のこのところで、
2:44:39	を指してございます。
2:44:45	ノダですけどわかりましたから個展ところにちょっと、③番のそのところに点線が下から抜けてると思うんでここに矢印がないんですけど、ここで完了するってことですよ。
2:44:58	その通りでございます。
2:45:02	あるかがですね、審査会合の中で、不適合管理の最後の措置として、P D C A を回すという話をされていたんですけど、その
2:45:13	その P D C A について、515 ページで、
2:45:17	記載がないんですけど、これは、
2:45:22	この 115 ページですと、どこに出てきますか。
2:45:30	全然ノセでございます。ここで、
2:45:34	はですねえ、明確に書いてはなくて、この不適合管理の対策。
2:45:41	書いてるんですけど、これ終わるときに、是正処置、
2:45:46	そして、この
2:45:48	衛藤。
2:45:49	今後のプロセスを見直すかどうかとかそういうところをやるん。
2:45:54	ていうところをやるんですけど、この少々ではそこまで記載してございません。
2:46:03	この不適合管理のこのオレンジの中で、その対策、
2:46:08	他に是正処置という、
2:46:13	検討というか、
2:46:14	そういうことやるんですけど、そこまで資料上では記載してございません。
2:46:28	はい。現在のイトウでございます。今野瀬が言った通りですね、ここに書いてあるのは不適合の除去に関するところ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:46:38	です。
2:46:39	ですのでもともとですね、不適合が
2:46:43	残ったまま資料が出てきたんじゃないかという、そういったやりとりがあったと認識してますので、我々としてはですね、まず、技術、技術、
2:46:54	技術資料、ごめんなさい、記録ですね、品質記録をしっかりと種
2:47:01	①番のところですねオレンジの丸一番のところ品質記録のところ、直りましたと。2番のところ審査資料ですね、が直しましたと。これをもとに、
2:47:14	前回ピンクの左下のところですね、1099回の審査会合資料が、
2:47:21	作られているので不適合が除去されたもので、審査資料を作ってるんですというご説明をここで差し上げたかったということです。
2:47:30	P D C Aというところで、是正処置の話はこれ我々のプロセスでももちろんありますので、
2:47:40	もちろんですね我々も是正処置は本件について説明を行うことに、
2:47:46	してますので、訂正推奨値も行った上で、今後ですね、再発防止はするということでございますが、そこについては今記載はしていないということです。
2:48:02	規制庁、小野田ですけどご説明ありがとうございました。それで、是正措置というのは、これは対策内容123があって、それがどこに箱、どこに入りますか。
2:48:13	堆砂原理イトウです。対策と是正は違うものですので、対策というとは不適合を除去する行為ですね。ですので
2:48:24	不適合そのものに対して、取るものが対策。
2:48:29	ですね、是正措置というのは同じようなことを起こさないようにするための措置ですので、それはこの123とはまた別の活動でございます。
2:48:40	規制庁の馬場ですけどすみません聞き方が下手くそで時系列的にはモード。
2:48:46	次、是正措置はやられているのですかやられていないんですか、検討です。是正処置は行われています。
2:48:59	規制庁の馬場ですけど、P D C Aはもうやっていて、その結果はどうなってますか。
2:49:08	是正措置を行って、我々の活動としては1年後にですね、そのその是正処置の実効性評価というものをやることにしてますんでその中で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:49:19	1年間の中で再発がなかったとか、そういったところは確認することにしてございますまだ1年経っていないので、
2:49:27	受講生評価という形で行ってませんが今、再発が今のところ再発はないと思っています。
2:49:35	規制庁野田です。ご説明ありがとうございました。そしたらあれですか。
2:49:40	さっき冒頭に野瀬さんに確認した通り不適合管理としては、③番にある、審査資料を提出すると、完了するという事なんですけど。
2:49:50	その不適合管理の外では是正措置がやられるってことですかこの不適合管理の完了と是正措置の、との関係がちょっと理解できなかったんですけど。はい。現状です。
2:50:01	不適合の方は原因の除去ですので、
2:50:06	場合によっては時間がかかるわけですね。今回のように審査資料を出すまで不適合が終わらないということであれば、ずっと不適合の対策完了までは期間がかかるということになりますけど、
2:50:20	それ終わってから是正をやるということになりますと、その間ですね、
2:50:26	同じようなことが起きる恐れがあるということですので、不適合の原因を分析して、それに対して起きないように措置をとるのが是正処置ですのでそれについては、
2:50:40	不適合な管理を待たずに我々として原因がどうだったっていうのを明確にしてそれに対して起きないように措置を打っているということでございます。
2:50:50	聞いて小野田です。ご説明ありがとうございました同時並行的にやられてるってことですか。そうですね。アルテックが受けると、どういう原因だったんだろうっていうのはすぐ考え出しますのでそれは対策が必ずしも終わってなくても是正措置をとることはあります。
2:51:06	わかりましたありがとうございました。あとは、当会の中でこれも管理官から、不適合管理が完了し、してない。
2:51:16	完了は外れても、審査会合資料として提出することで完了するんですけど、
2:51:21	その前でも、一応この外部コミュニケーションのプロセス、これ最後に、この115ページの一番下、左のところですかね、一番左の一番下の後、準備会合にて審査後、担当、
2:51:35	これグループマネージャーかな。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:51:38	G Mの承認を経たら、もうこれは不適合管理が完了してなくても、
2:51:44	資料が対外的に、
2:51:46	焦る。
2:51:47	という理解で正しいですかもし正しくなければ、修正していただければと思うんですけど。
2:51:55	不適合管理ということで帳票上ですね我々、対策を三つ置いときましたのでそれが終わってないということだと思っています。ここを見ると
2:52:10	まずメーカーの資料っていうんですかね、技術、すいません、品質記録ですか、品質記録に不備があって、それに基づく審査資料に、
2:52:21	不備があって、あとは
2:52:24	当時お出しした規制庁の方に今お渡ししている資料に不備があると、三つ不備があるというところですので、そのうち我々の
2:52:34	そのメーカーとのやりとりで、品質記録の不備はもう解消されたというのを、GMが確認しています。で、
2:52:43	我々が持っているその審査資料系断層の資料っていうのもごめんなさい。ちょっと端的に答えてもらっていいですか。左 115 ページの、はい。左の一番下にある通り、説明資料の作成、審査承認提出。
2:52:58	提出っていうのがきちんとへの提出と理解しているんですけど、これは準備会合で審査後、担当GMが承認すればできる。
2:53:07	できるということでもいいですか。はいそれで結構です。その根拠となるのはこの②番まで対策が終わっていることを担当マネージャーが確認してるからということになります。
2:53:22	はい。藤さんありがとうございます。きちっとノダですけどあと最後に、これも島田さんの会合の中で、変更管理の設計上のプロセスの方が不適合の方に取り込まれる。
2:53:36	ような形になりますと言われているのは、これはあれですか、115 ページに、真ん中辺り、赤井先生が二つあると思うんですけど、
2:53:46	変更管理、例えば、
2:53:53	金庫の一つ目のところここで承認が終わるとこれが右側に移っていくっていうそういうことを言われているんですがちょっと、この霜田さんの発言とこの 115 ページと、資料ですと、表現されてるかがわからなかったんで確認させてもらっていいですか。伊藤です。ちょっとシマダの発言のイトウ
2:54:13	ですけどおそらく、ちょっと想像になってしまうんですが

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:54:17	まず不適合で、修正しますと、設計資料等を修正しますとしましたので、それはもう我々のプロセス法って、あの辺、もちろん変更管理をやって修正するということになりましたので、
2:54:29	変更管理を行った上で、
2:54:35	まず品質記録が直って、
2:54:37	設計が進んで、す。
2:54:41	設計のアウトプットが、変更管理のもとでできたので審査資料がつくれたので、審査資料がつくれたところで②番が終わったあと審査資料のGMの承認ですね、パッと事務ピンクのトーンとあと事務承認をもって、
2:54:55	不適合の方も、これ同じ事務ですけど同じ目が終わったことを確認したということになります。
2:55:03	ご説明ありがとうございました。はい。承知しました。あと最後に、
2:55:10	コアのコメント、3 ページですね3 ページに、コメント一覧があって、
2:55:16	本社から、12月21日付昨年の12月21日付でもらった、資料を提出いただいた資料ですと、この6番のところって、石油開発のプロセスが完了していることを説明することとなっている。
2:55:31	んですけど、今回、ご提出いただいた資料はここが、プロセスが適切に行われたかどうかを説明することとなっている、この変更について、
2:55:43	何ら言及がなかったんですけど、それについてちょっと補足で説明してもらっていいですか、原電の神谷ですけども、これ12月22日でしたか、その面談の時に完了っていう言葉が、
2:55:58	あまりよくないですね。
2:56:00	ていうやりとりをさせていただきましたので、
2:56:03	直してます。
2:56:07	直してるという説明を受け最初しなかったのは、申し訳ありません。
2:56:10	はい。
2:56:13	ありがとうございました。そこだけだったかな。
2:56:17	12月。
2:56:19	かなんですかね。はい。
2:56:21	ありがとうございました。記憶してます。記憶してるんで、それを踏まえて、直したんだろうなと思っていたんですけど、その後、その結論が今日、ヒアリング、
2:56:35	中のご説明があるかなと思ってたんでなかったんですいません、念のために、確認させてもらいました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:56:42	はい。私からは以上です。ありがとうございました。
2:56:52	F。
2:56:53	やります。
2:56:58	石井友田ですけど、あとスケジュール、すいません。
2:57:03	見てそのままだと思うんですけど、もし御社の方から、
2:57:06	補足で説明することがあればお願いしていいですか。
2:57:14	年齢ノセでございます多分見てそのまま特になんですけど、
2:57:21	黄枠のところ、これ前回からってというのがちょっと、
2:57:26	20、
2:57:28	20、12月の22日の面談。
2:57:30	からですね。
2:57:32	本校改正箇所ということで、ちょっと、
2:57:37	上の段の真ん中のところをちょっと、今の現状を合わせて少し右側に移らして、今回、面談じゃなくてヒアリングだってことでヒアリングすると。
2:57:48	サポーター形になります。
2:57:52	施設の方がです。ご説明ありがとうございました。これはあれですかね。今脇枠ところが日付が入ってないんですけど今度介護資料として金曜日出してもらうときはここに日付を入れる。
2:58:08	ここどうですか。
2:58:15	布施でございます。基本的に、
2:58:17	実績をどんどん入れながら、改正していってますので、入れることになるのかなとは思ってます。
2:58:25	規制庁の小形さんありがとうございます。あとはあれですかね3月のところで、資料全体の展開とあってこのケースだと面談ってなってるんですけど、おそらくここもヒアリングになると思いますんで、
2:58:38	差し支えなければ、ヒアリングに修正してもらえればと思います。
2:58:44	はい。
2:58:45	他はこの今後のスキーム説明スケジュールがありますか規制庁側から。
2:58:51	県のカミヤですけどちょっと非常にお作法的なところ我々も市報錯誤していてとりあえず表紙に書いて2と。
2:59:00	したんですよ。それは年末に出したのを書いて1にしてたんですね。
2:59:05	2ページ目のところの改定履歴をつけてるんですけど、改訂番号の2のところ改訂案提示と、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:59:15	ちょっと北海道さんとかの例を参考にして、
2:59:21	面談とか、要するに改定番号だけが増えていくのもどうかなと思ったので、
2:59:29	今だから、実績をいえるとか3月の面談をヒアリングとするということは、
2:59:38	それは直すにしても、変えて、
2:59:43	2のままで、
2:59:45	改定履歴はこれ1月26日にしてますけど、2月10日、
2:59:51	というふうにして書いてあって時々の消すのかなと思って他社さんを見ながら、事務局とちょっとなんですけど、もう決まりはないとは思ってますけど、
3:00:03	ちょっと先行事例を踏まえて、ちょっと試行錯誤して、
3:00:07	るところです。
3:00:10	市町村ノダですけど、ご説明ありがとうございました。すいません。そんなに緻密につくられていると考えるなくて、すいません。実績とか面談をヒアリングについていう話をしてしまったんですけど、
3:00:25	そうですか。
3:00:27	緩急案ページ。
3:00:31	うん。
3:00:38	そしたらあれだったのかな。改訂案ってなってたんで、本当は1ページ目のところにあるっていうことを、
3:00:46	示した上で、
3:00:48	この2の案と0が、
3:00:50	今日の
3:00:51	ヒアリングを踏まえて言ってくださったのかな。
3:00:56	うん。
3:01:06	何かありますか。
3:01:09	ルールはない。
3:01:16	これは北海道電力したい。
3:01:20	はい。全部を見たわけじゃないんですけど、泊さんは今かなりプラント側も地盤津波がもうパッケージにして、かなり詳細なスケジュールにしてるんですね我々も当然、いずれ

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:01:33	ああいう形にしないとイケなくて、今お出ししてるのは、その時には、単なる実績として後ろの方につけるのかなというふうにイメージしていて、泊さんの11月1日の審査会合、昨年末、
3:01:46	その前のヒアリングの資料というのがこういう書き方に近くて、審査会合のときはこの改訂案提示っていうのと日付が変わって、そのままここに出てるというプラクティスが、
3:01:58	あったので、とりあえずそうしようかなと思ってたわけなんですよ。
3:02:04	織田ですけどありがとうございます。そしたら、例えばこれ、
3:02:09	ジャストアイデアなんですけど、
3:02:12	この改定番号と多分審査会合の回数が李リンクさせて、
3:02:19	次回やるのが2回ですよ。
3:02:22	だから、その審査会合ごとに区切って、
3:02:27	行けばいいんじゃないですか。
3:02:30	さっき枝番って言ったんですけど、必要に応じて案とか枝番とかを、
3:02:35	つけて管理していくっていうのが一つ。
3:02:38	あるかな。すみません今日案がついてなかったんで、アンドレ案をとればいいかなと思ったんですけどそう思う。
3:02:44	いなくなっていていかなかったんですけど。
3:02:48	いただければと思います。はい。限界です。ありがとうございます。その辺のちょっと細かいところはお任せいただいたとしても、
3:02:57	ということでただまああまり改定番号が、
3:03:00	増えるのは何となくあれなので、枝番とかその辺をうまく改善利益のところを工夫するということを検討したいと思います。はい、ありがとうございます。
3:03:12	あ、どうぞ。あります。何かもう、
3:03:16	いいと思います。
3:03:19	あと、
3:03:21	北方
3:03:24	カイダですけども、
3:03:28	こちらからの確認はある程度今の範囲なんですけれども、
3:03:33	そちらからあればまたちょっと、
3:03:36	の確認等あれば、
3:03:38	お願いしたいんですが、なければちょっと今日の振り返りというか、
3:03:43	ちょっとどこをどうするかっていうところの話も、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:03:47	ないんですけど何かありますか、その確認と。
3:03:51	はい。辨野カミヤですけど、このヒアリングが始まる前に我々としてこのページだけちょっと修正したいなと思ってたところがあるので、それは細かいことなんですけど、
3:04:02	さっき申し上げた方がいいですか。すみません。細かいんですけど 69 ページですね。
3:04:12	これ表があってですね。
3:04:16	表の中にこれ連続性評価を示してる表なんですけど、個票の中にこうバーという記載が、うん。
3:04:25	それぞれ幾つかの別にあってそれぞれの列で、この%の意味合いが違いますので、この辺申し訳ありません、ちょっとカイダさんの前で、この検査の気づきでもご指摘をいただいていたところなので、
3:04:40	このあたり、それぞれ注釈をですね、小さい字で、欄外に、
3:04:45	ちょっと
3:04:48	書きたいと思ってます。はい。ちょっとそれだけ前ました。
3:05:00	誤記修正、きちんと行って、誤記修正っていう感じで 30 ページ。
3:05:10	No.15。
3:05:12	変更修正の理由。
3:05:15	一つ目のポツのコアを塞い観察。
3:05:19	コアの再観察の結果、ここは、
3:05:23	No.9 学校再監査。
3:05:27	No.19 もフォーク公安の再観察の、
3:05:34	お母さん。
3:06:16	後、
3:06:16	江藤さんですか。はい。ありますか。
3:06:29	はい。
3:06:30	そしたら今日幾つか事実確認してもらった、実地確認させてもらって、
3:06:36	例えば、衛藤。
3:06:39	すみません。
3:06:41	審査会合までに修正するかしないか。
3:06:44	のことなんですけど、
3:06:46	まず、16 ページ。
3:06:50	ここミヤワキの方から、
3:06:54	全部ですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:07:00	こ
3:07:01	わかんない。
3:07:04	今表をひっくり返しているってことが記載されてないんですけど。
3:07:08	これは、
3:07:10	どうしますか。
3:07:15	はい。現在のイガラシです。ここは
3:07:20	他の県のオリジナルの方向資料がどっち乗ってるかっていう話もありまして、ちょっとそこを確認して、
3:07:27	庁舎をつけるのか。
3:07:30	もと。
3:07:32	検討したいと思うんですけど。
3:07:39	出村です。はい、じゃあ、検討してもらえればと思う。
3:07:44	思いますので、
3:07:46	そしたら、
3:07:53	はい。わかりました。検討するのであれば、
3:07:57	いずれにしても、本件、2月の10日の金曜日の午前中、
3:08:05	の審査会合で審議しますんで、資料、2月3日、
3:08:12	金曜日今週の金曜日ですね、の13時までに提出。
3:08:17	いただければと思います。今日の
3:08:20	事実確認を踏まえて、等踏まえた上でのこの資料の取り扱いはそのら 本社の方でご検討いただければと思います。
3:08:30	規制庁側から以上ですけど、日本原電の方から、確認とか、
3:08:39	質問があればお願いします。
3:08:56	カミヤですけども、特に当社からございます。
3:09:04	センサーを変えないですか。わかりました。それではですね今ほど申し上げたように今日のヒアリングを踏まえて、2月3日までの
3:09:13	どう対応できるかというところを検討いただいて、
3:09:17	その結果費用の更新した上で提出いただきたいと思いますので、
3:09:23	よろしくお願いします。
3:09:25	では今日のヒアリングは終了したいと思います。ありがとうございました。
3:09:29	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。